

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0001

令和5年度行政事業レビューシート (公正取引委員会)							
事業名	企業結合の迅速かつ的確な審査			担当部局庁	経済取引局	作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企業結合課	横手 哲二	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	独占禁止法 第1条、第9条、第10条、第11条、第13条、第14条、第15条、第15条の2、第15条の3、第16条、第17条、第17条の2、第18条			関係する計画、通知等	-		
政策	独占禁止法違反行為に対する措置等			主要経費	その他の事項経費		
施策	企業結合の迅速かつ的確な審査						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	企業結合(株式取得、合併、分割、共同株式移転及び事業譲受け等)について、届出に基づいて、迅速かつ的確な企業結合審査を行い、独占禁止法の規定に違反することが認められた場合には適切に対応するとともに、主要な企業結合事例を公表することにより、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合を防止する。						
現状・課題(5行程度以内)	届出が行われた企業結合計画については、独占禁止法上、法定の期間内に①独占禁止法上問題がないと判断するか、②独占禁止法上問題があるものとして排除措置命令を行うための手続に移行するかを判断しなければならない。また、企業結合を計画している事業者は、市場の状況や動向を動察しながら、当該企業結合を実施する時機を計画している。そのため、公正取引委員会としては、迅速かつ的確な企業結合審査を行う必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	企業結合(株式取得、合併、分割、共同株式移転及び事業譲受け等)について、迅速かつ的確な企業結合審査を行うとともに、主要な企業結合事例を公表することで、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合を防止することにより、公正かつ自由な競争を維持・促進する。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	13	32	32	46	42
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	▲6	-	-
		計(F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	13	32	26	46	42
		執行額(G)	7	25	22	-	-
		執行率(%)=(G)/(F)	54%	78%	85%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)=(G)/{(A)+(B)}	54%	78%	69%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会						
(目)	審査活動費	42	38				
(目)	審査活動旅費	4	4				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	その他	▲0	▲0				
	計(A)	46	42				

活動内容① (アクティビティ)		企業結合(株式取得、合併、分割、共同株式移転及び事業譲受け等)について、迅速かつ確かな企業結合審査を行う。 ※なお、令和元年度の活動実績(1次審査における実際の平均審査日数)は14日である。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		迅速かつ確かな企業結合審査の実施	1次審査における実際の平均 審査日数	活動実績	日	18	18	17	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		迅速な企業結合審査を行うことで、企業結合計画の実行が禁止される期間(禁止期間)の短縮が可能となり、当事会社の計画どおりの企業結合計画の実行につながるほか、的確かつ精緻な企業結合審査を行うことで、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合の防止が図られるため。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		当事会社の計画どおりの企業結合計画の実行及び競争を実質的に制限することとなる企業結合の防止	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		迅速な企業結合審査により、令和4年度に届出を受け審査を行った306件のうち、243件について禁止期間の短縮の申出がなされ、その全件で禁止期間の短縮が行われた(禁止期間の短縮の申出への対応率100%)ことから、おおむね、当事会社の企業結合計画が計画どおりに実行されたと考えられる。また、企業結合審査の結果、当初の企業結合計画のとおり実行された場合には競争を実質的に制限することとなるおそれがあるが、一定の措置が講じられることを前提に独占禁止法上の問題がないと判断され、企業結合が実行されたものについては、的確な企業結合審査により、競争を実質的に制限することとなる企業結合の防止が実現したと考えられる(令和4年度においては、当事会社が申し出た措置を前提として独占禁止法上の問題はないものとして判断した事例として今治造船株式会社及び日立造船株式会社による大型船用エンジン事業に係る共同出資会社の設立がある。)。 ※なお、一定の措置が講じられることを前提として独占禁止法上の問題がないと判断された企業結合の件数は令和元年度は4件、令和2年度は6件、令和3年度は3件、令和4年度は1件である。								
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		当事会社の計画どおりの企業結合計画の実行及び競争を実質的に制限することとなる企業結合の防止によって、事業者の事業が円滑に実施され、競争を阻害する要因が減少することから、市場における公正かつ自由な競争と一般消費者の利益の確保につながると考えられる。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		市場における公正かつ自由な競争と一般消費者の利益の確保	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		迅速な企業結合審査により、おおむね、当事会社の企業結合計画が計画どおりに実行されたほか、的確な企業結合審査により、競争を実質的に制限することとなる企業結合が防止されたことから、市場における公正かつ自由な競争と一般消費者の利益が確保されたものと考えられる。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		当事会社の計画どおりの企業結合計画の実行及び競争を実質的に制限することとなる企業結合の未然防止の程度について、定量的に測定することは困難であるため。								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		企業結合(株式取得、合併、分割、共同株式移転及び事業譲受け等)について、主要な企業結合事例を公表する。 ※なお、令和元年度の活動実績(「主要な企業結合事例集への掲載事例件数」)は10件である。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		主要な企業結合事例の公表	主要な企業結合事例集への 掲載事例件数	活動実績 当初見込み	件	10	10	10	9	10
						-	-	-	-	-
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	公正取引委員会ウェブサイトに掲載した企業結合事例集の閲覧数はおおむねアクセス件数で測ることができる。アクセス件数が多ければ、企業結合事例集の公表が企業結合審査に対する理解の増進に資するものとなっていると考えられるため。							
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
		企業結合審査に対する理解の増進	公正取引委員会ウェブサイトに 掲載された企業結合事例集 へのアクセス件数	成果実績	件	7,655	5,978	8,287	-	
				目標値	件	-	-	-	8,000	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		※令和元年度のアクセス件数は6,403件								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	公正取引委員会ウェブサイトに掲載する企業結合事例集は、実際の事例においてどのような考慮要素に基づいてどのような判断がなされたかを具体的に記載しており、これにより企業結合を計画する事業者の企業結合審査に対する理解が増進されるとともに、企業結合審査に係る透明性及び予見可能性も高まると考えられるため。 例えば、平成29年度の事例集に掲載された事例(※)では、垂直型及び混合型企業結合の考え方について詳細な記述を行っている(その後、令和元年の企業結合ガイドラインの改定の際には、これらの考え方を同ガイドラインに盛り込んでいる。) ※垂直型企業結合:日立金属(株)による㈱三徳の株式取得(平成29年度事例集:事例2) 混合型企業結合:プロードコム・リミテッドによるプロードコム・コミュニケーションズ・システムズ・インクの株式取得(平成29年度事例集:事例4)							
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
		企業結合審査に係る透明性及び予見 可能性を高める。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実際の企業結合事例を具体的かつ詳細に記載した企業結合事例集を多くの事業者が閲覧したことによって、企業結合審査に係る透明性及び予見可能性が一定程度向上したものと考えられる。 なお、企業結合事例集の事例1件当たりの頁数は、令和元年度7.5頁、令和2年度8.3頁、令和3年度14.6頁、令和4年度12.3頁である。								
↓		成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	企業結合審査に係る透明性及び予見可能性を高めることによって、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合の防止が期待できる。							
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		一定の取引分野における競争を実質 的に制限することとなる企業結合の未 然の防止	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		企業結合審査に係る透明性及び予見可能性が高まったことで、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合の未然防止が、おおむね達成されたものと考えられる。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		株式取得等の企業結合審査の事例を公表することで、企業結合審査に係る透明性及び予見可能性が高まることにより、一定の取引分野における競争を実質的に制限することとなる企業結合を防止することを目的としているが、これらを定量的に測定することは困難であるため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)																														
↓																														
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						活動実績					当初見込み					単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込					
活動実績																														
当初見込み																														
↓																														
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
↓																														
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
↓																														
成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由																												
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由																												

活動内容④ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
				当初見込み						
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)											
↓											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
				活動実績							
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									

公正取引委員会（企業結合課）
21.7百万円

〔 企業結合審査 〕

【一般競争契約 等】

A.民間事業者26者
20.3百万円

〔 報告書等の印刷製本
書籍等の購入 等 〕

B.職員29名
1.3百万円

〔 ヒアリングのための出張 等 〕

※支出金額については、四捨五入をしているため内訳の数値などと整合しない。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

A.			B.			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
審査活動費	会社情報等のデータ購入等	20.3	審査活動旅費	国内出張	1.3	
計		20.3	計		1.3	
C.			D.			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
計			計			
E.			F.			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
計			計			
G.			H.			
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
計			計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0002

		令和5年度行政事業レビューシート			(公正取引委員会)		
事業名	独占禁止法違反行為への厳正な対処			担当部局庁	審査局、官房		作成責任者
事業開始年度	昭和22年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	管理企画課、官房総務課、意見聴取手続室、経済分析室、会計室		堀内 悟、宮本 信彦、高山 英樹、栗谷 康正、多田 修
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	<small>【第17号】</small> ○法第3条、第6条、第8条、第19条 <small>【課徴金関係】</small> ○法第7条の2、第8条の3、第20条の2から第20条の7まで ○施行令第4条から第7条まで、第12条から第14条まで、第22条から第31条まで <small>【手続】</small> ○法第5条第2款			関係する計画、通知等	-		
政策	独占禁止法違反行為に対する措置等			主要経費	その他の事項経費		
施策	独占禁止法違反行為への厳正な対処						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	独占禁止法違反行為に厳正かつ迅速に対処し、これらを排除することにより、公正かつ自由な競争を維持・促進させ、一般消費者の利益確保と国民経済の民主的で健全な発達に資する。						
現状・課題(5行程度以内)	これまで、国民生活に密着した分野における事業、国際的に影響力のあるデジタルプラットフォーム等に対する事業を含め、IT・デジタル、スタートアップといった国民の関心が高い事業などについて、積極的に審査を行い、社会的ニーズに的確に対応した多様な事件に取り組んできた。今後も、国民生活に影響の大きい価格カルテル・入札談合、不正な取引方法について、厳正かつ積極的に対処するとともに、社会的ニーズに対応して多様な分野の事件に取り組んでいく。						
事業概要(5行程度以内)	独占禁止法に違反する疑いのある行為について所要の調査(立入検査、事情聴取等)を行い、違反行為が認められた場合には排除措置命令を行うほか、確約認定、警告等の必要な措置を講ずる。排除措置命令及び課徴金納付命令をしようとする場合に、その名宛人となるべき者について、意見聴取を行う。独占禁止法違反被疑事件審査、企業結合審査、各種実態調査等における経済分析業務を専門に担当し、法執行及び政策立案への経済分析の一層の活用を図る。訴訟業務を適正かつ円滑に処理するため、裁判所へ提出する書面の作成、裁判期日への出頭、訴訟上の論点について学識経験者等からの意見聴取等を実施。						
事業概要URL	<small>(独占禁止法違反事件の処理手続図)</small> https://www.jftc.go.jp/dk/seido/shorizu.html <small>(課徴金制度)</small> https://www.jftc.go.jp/dk/seido/katyokin.html <small>(犯罪調査権限)</small> https://www.jftc.go.jp/dk/seido/hansoku.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	377	388	416	466	537
		補正予算(B)	-	-	258	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	258	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲ 258	-	-
		予備費等(E)	▲ 92	▲ 1	5	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	285	387	421	724	537
		執行額(G)	249	295	381	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	87%	76%	90%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	66%	76%	57%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		重要政策推進枠(公正取引委員会分)23(デジタル庁一括計上分)62				
(目)	審査活動費	156					139
(目)	審査活動旅費	63					64
(目)	非常勤職員手当	28					31
(目)	経済実態等調査費	7					15
(目)	庁費	6					0
(目)	職員旅費	4					14
(項)	情報通信技術関連等選定・均等化推進費						
(目)	情報処理業務庁費	198					271
(目)	-	-					-
(目)	その他	3	3				
	計(A)	466	537				

活動内容① (アクティビティ)	・事業者による独占禁止法違反に対して、事件審査(端緒処理、立入検査・証拠収集、事情聴取)を実施し、違反行為が認められた場合には、排除措置命令を行うほか、確約計画認定、警告等の必要な措置を講ずる。 ※令和元年の法的措置件数は13件									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	独占禁止法違反行為に対して、排除措置命令等の法的措置等を探る。	法的措置件数	活動実績	件	15	5	11	-	-	
			当初見込み	-	-	-	-	-	-	
↓										
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	アウトプットに設定した排除措置命令等を行う結果として、これを命じられるなどした事業者が当該命令等で認定された独占禁止法違反行為等を行わなくなる。(なお、令和5年度は、EBPMの取組の一環として、排除措置命令における再発防止策に関する効果検証の取組(違反事業者の従業員等の行動変容に着目)を実施した。)									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度		
	独占禁止法違反行為等の解消		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
国民生活に影響の大きい案件や、社会的ニーズに対応した多様な分野の案件等で措置を行った結果、独占禁止法違反行為や同法違反が疑われる行為が行われなくなった。また一部案件では行為者によって取引先に対する金銭的価値の回復等が行われた。 近年の公表事案では、例えば以下の案件がある。 ・旧一般電気事業者らによる市場分割カルテル事件【排除措置命令及び課徴金納付命令】(令和5年3月公表) ・Booking.com B.V.による拘束条件付取引被疑事件【確約計画認定】(令和4年3月公表) ・エクスペディア・ロッキング・パートナー・サービシーズ・サールによる拘束条件付取引被疑事件【確約計画認定】(令和4年6月公表) ・アマゾンジャパン合同会社による優越的地位の濫用被疑事件【確約計画認定】(令和2年9月公表)										
↓										
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	独占禁止法違反行為が行われなくなることで、事業者間の競争が促進されることにより、消費者にとって、価格の低下や商品・サービスの選択肢の増加といったメリットがもたらされる。									
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績										
↓										
成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
	一般消費者の利益の確保	排除措置命令等によって保護された消費者利益額	成果実績	億円	67	128	7,612	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果実績の消費者利益額については、「市場規模」、「価格上昇率」及び「継続期間」を乗じることにより推計している。 なお、「市場規模」については法的措置を採った事件において違反行為が行われた一定の取引分野の市場規模の額を用いたほか、「価格上昇率」及び「継続期間」については法的措置が採られなければ10%の価格引上げが3年間継続されると仮定した。 ※令和元年の消費者利益額は2035億円(令和元年度に排除措置命令を行った事件のうち2件については、別々の事業者による行為であるものの、同一市場における行為であるため、重複額を除いて計算している。)										
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	違反行為の態様やその解消の状況は事件ごとに様々であり、一概に指標でそれを検証することは困難であることから。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

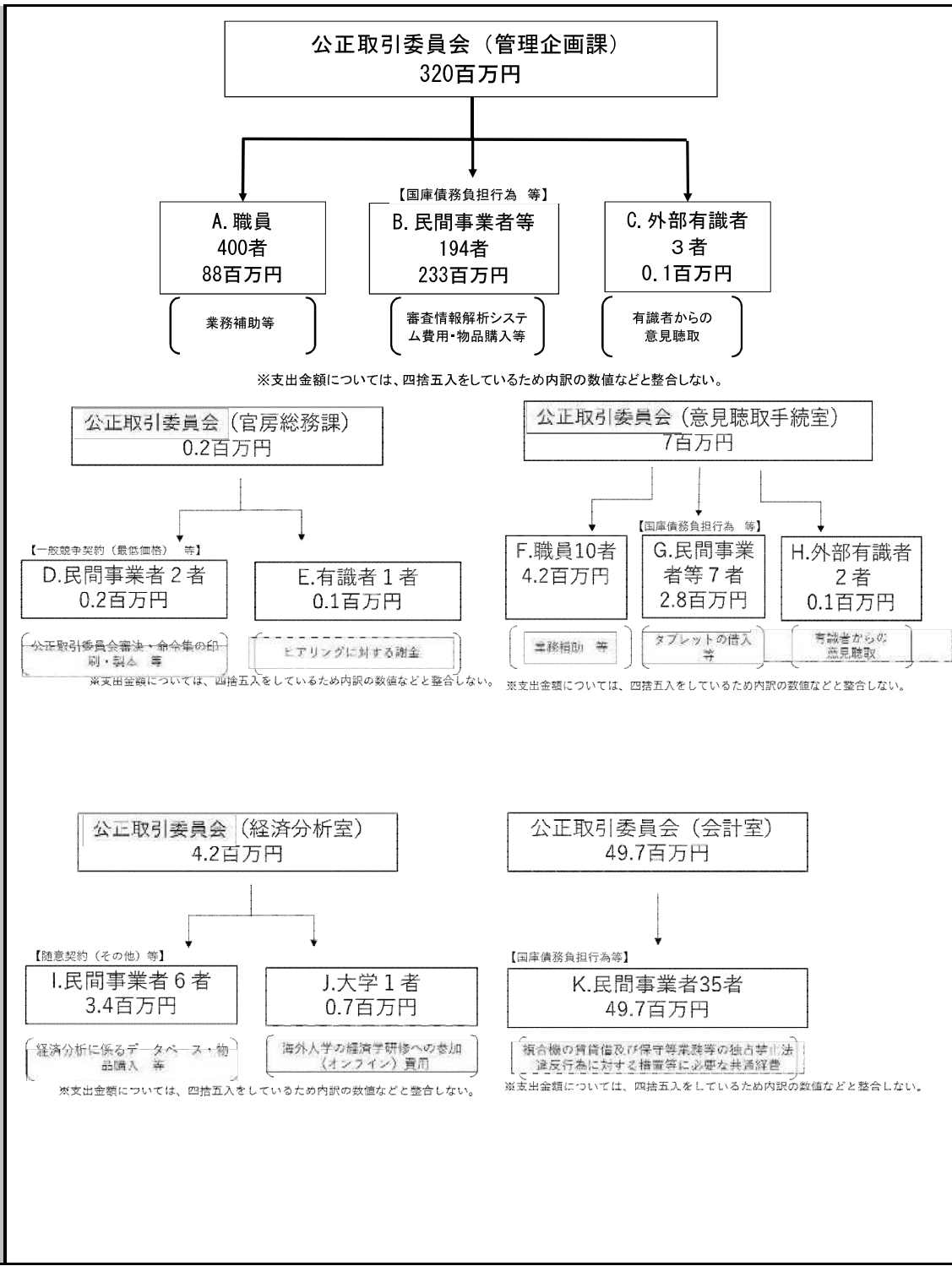
活動内容② (アクティビティ)		酒類、石油製品及び家庭用電気製品の小売業における不当廉売行為に対処する。 ※令和元年の注意件数は235件 ※不当廉売事件の令和元年度の平均処理期間は1.8か月、令和2年度は2.0か月、令和3年度は2.8か月、令和4年度は2.1か月である。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		酒類・石油製品・家庭用電気製品等の小売業に係る不当廉売事件について迅速に対処する。	酒類、石油製品及び家庭用電気製品の小売業における不当廉売事件の注意件数	活動実績 当初見込み	件	136	244	192	-	-
						-	-	-	-	-
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		酒類、石油製品、家庭用電気製品等の小売業に係る廉売は、複数の小売業者が相互に対抗して廉売を繰り返すことによって、周辺の小売業者の事業に悪影響が及ぶ可能性がある。そのため、アウトプットに設定した注意を迅速に行う必要がある。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		不当廉売が未然に防止される	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		不当廉売につながる可能性のある行為に対して注意を行い、その取りやめが促された。								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		周辺の小売業者の事業に悪影響が及ぶことを防ぐことで、公正かつ自由な競争を阻害する可能性を防ぎ、長期的に消費者にとって利益が確保される。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		-								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		一般消費者の利益の確保	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		3品目の不当廉売の取りやめに係る消費者利益額のデータは存在しないものの、不当廉売行為が未然に防止されることで、公正かつ自由な競争が阻害される可能性が防がれ、長期的に消費者にとっての利益が保護されたものと考えられる。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		違反行為の解消の状況は事件ごとに様々であり、一概に指標でそれを検証することは困難であることから。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)											
↓											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
				活動実績							
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)									
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容④ (アクティビティ)																																																	
↓																																																	
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>											活動実績										当初見込み										単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込									
活動実績																																																	
当初見込み																																																	
↓		成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																																															
		成果目標		定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>											成果実績										目標値										達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果実績																																																	
目標値																																																	
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)																																																	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																																																	
↓		成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																																															
		成果目標		定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>											成果実績										目標値										達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果実績																																																	
目標値																																																	
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)																																																	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																																																	
↓		成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																																															
		成果目標		定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>											成果実績										目標値										達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
成果実績																																																	
目標値																																																	
達成度	%	-	-	-	-	-	-	-	-																																								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)																																																	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																																																	
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由																																															
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由																																															

活動内容⑤ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
審査活動旅費	職員旅費	63	情報処理業務 庁費	審査情報解析システム費用・情報関係物品購入 等	187
非常勤職員手当	業務補助	25	審査活動費	物品役務の購入等	45
			自動車重量税	自動車に係る税金	0.1
計		88	計		232.1
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師	0.1	庁費	公正取引委員会審決・命令集の印刷・製本費 等	0.2
参考人旅費	ヒアリング	0.1			
計		0.2	計		0.2
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	ヒアリング	0.1	非常勤職員手 当	業務補助	3.5
			職員旅費	国内出張	0.7
計		0.1	計		4.2
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
電子計算機等借料	タブレットの借入れ	1.8	諸謝金	ヒアリング	0.1
庁費	労働保険料の支払い 等	1			
計		2.8	計		0.1

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者に
 ついて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	外部有識者A	-	審査手続に係る有識者からの 意見聴取	0.1	その他	-	--		
2	外部有識者B	-	審査手続に係る有識者からの 意見聴取	0.1	その他	-	--		
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	

別紙2

I.			J.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
経済実態調査費	論文データベースの購入	3.2	経済実態調査費	海外大学の経済学研修への参加(オンライン)	0.7
経済実態調査費	参考資料の購入	0.3			
計		3.4	計		0.7
K.			L.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
審査活動費	複合機の賃貸借及び保守等業務等	32.4			
庁費	複合機の賃貸借及び保守等業務等	17.3			
計		49.7	計		0
M.			N.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

		令和5年度行政事業レビューシート			(公正取引委員会)		
事業名	取引慣行等の実態把握・改善のための提言			担当部局庁	経済取引局取引部	作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	取引企画課、取引調査室、相談指導室	西川 康一、吉川 泰宇、久保田 卓哉	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	独占禁止法 第2条第9項(不正な取引方法の定義)、第3条(私的独占又は不当な取引制限の禁止)、第8条(事業者団体の禁止行為)、第19条(不正な取引方法の禁止)、第40条(調査のための強制権限)、昭和57年公正取引委員会告示第15号(不正な取引方法) 等			関係する計画、通知等	-		
政策	公正な取引慣行の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	取引慣行等の実態把握・改善のための提言						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	【取引企画課・取引調査室】独占禁止法・競争政策上の課題があると考えられる取引分野における流通・取引慣行の実態を把握し、その結果に基づき、競争政策上望ましい行為の提言、各種ガイドラインの作成・見直し等を実施することにより、各種取引分野の公正かつ自由な競争環境の確保を図る。 【相談指導室】講習会の開催等による独占禁止法に係る各種ガイドライン(取引慣行等の適正化に係るもの)の普及・啓発、独占禁止法に係る事業者及び事業者団体(以下「事業者等」という。)からの相談(企業結合及び優越的地位の濫用に係る相談を除く。以下「事業者等からの相談」という。)への対応を行うことにより、独占禁止法違反行為を未然に防止する。						
現状・課題(5行程度以内)	【取引企画課】当面の課題として、昨今のガソリン等販売業を取り巻く経営環境の変化等を踏まえ、実態調査を実施し、その結果を「ガソリン等の流通における不当販売、差別対価への対応について」(ガソリン不当販売ガイドライン)の見直しにつなげるなど、不当販売の未然防止に向けた取組を実施する。 【取引調査室】実態調査を行った業界については、今後、必要に応じてフォローアップ調査を実施するなどして、事業者による提言内容の実施状況や取引慣行の改善状況の把握に努める。 【相談指導室】独占禁止法違反行為を未然に防止するためには、独占禁止法に係る事業者等からの相談に適切に対応し、独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性を向上させる必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	【取引企画課・取引調査室】事業活動の実態等について、事業者に対する書面調査、ヒアリング調査等を実施し、その結果に基づき、独占禁止法・競争政策上の懸念がある取引慣行の是正についての提言等を含む実態調査報告書を公表し、周知徹底のための取組を実施するとともに、必要に応じて、ガイドラインの作成・見直し等を行うなど、公正かつ自由な競争環境の確保のための取組を実施するもの。 【相談指導室】講習会の開催等により独占禁止法に係る各種ガイドラインの普及・啓発等を図るとともに、事業者等がこれから実施しようとする具体的な事業活動の内容について、相談に応じ、問題点の指摘等を行う。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	30	34	31	28	52
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	▲ 13	▲ 7	▲ 10	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	17	27	21	28	52
		執行額(G)	13	20	13	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	76%	74%	62%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	43%	59%	42%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		取引実態調査の増のため。				
(目)	庁費	12	0				
(目)	職員旅費	6	6				
(目)	経済実態等調査費	5	45				
(目)	非常勤職員手当	4	0				
(目)	諸謝金	0.8	0.3				
(目)	委員等旅費	0.6	0.1				
(目)	-	-	-				
(目)	-	-	-				
(目)	-	-	-				
(目)	その他	▲ 0	0				
	計(A)	28	52				

活動内容① (アクティビティ)	<p>[取引企画課]ガソリン等販売業における不当販売を始めとした不正な取引方法の未然防止に向けた取組として、実態調査を実施する。</p> <p>例えば、ガソリン等販売業に関する取組の場合、以下を行う。</p> <p>a ガソリン等販売業を取り巻く経営環境の変化等を踏まえ、ガソリンの不当販売に係る政策・法執行への反映の検討材料とすべく事業者の経営実態等を把握するため書面調査及びヒアリング調査の実施。</p>																																
↓																																	
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 実態調査報告書を毎年度公表し、調査結果や示唆をガイドラインの改定のための検討材料とするとともに、関係業界に広く問題意識を共有してもらう。	活動指標 実態調査報告書の公表又はガイドライン改定に係る件数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績	件	-	1	1	1	-	当初見込み	件	-	1	1	1	1									
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																											
活動実績	件	-	1	1	1	-																											
当初見込み	件	-	1	1	1	1																											
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td> 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	<p>効果発現の初期段階として、事業者が、実態調査の結果やその結果を踏まえた改定ガイドラインの内容を把握する必要があることから、事業者や関係者による認知状況を短期アウトカムとして設定した。</p>																														
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																																
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 実態調査の結果や改定ガイドラインの内容を事業者が認知する	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>・上記aの実態調査報告書の公表(令和3年11月公表)後、ガソリン等販売業者で構成される業界団体の会合において、当委員会職員が調査結果について説明を行って、関係事業者等に周知が図られた。</p> <p>・上記aの実態調査結果も踏まえて行ったガイドラインの改定(令和4年11月)後、ガソリン等販売業者で構成される業界団体の会合等において改定内容が紹介され、関係事業者等に周知が図られた。</p> <p>・上記bの実態調査報告書の公表(令和5年5月)と併せて、調査対象となった事業者に対して、文書により、本実態調査から得られた示唆について情報提供するとともに、不当販売の未然防止に向けた取組について要請を行うことにより、関係事業者等に調査結果の周知が図られた。</p>																																
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td> 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	<p>効果発現の最終段階として、実態調査の結果や実態調査から得られた示唆、改定ガイドラインの内容等を認知した事業者が、これらの内容を踏まえた行動を採ることにより、不当販売の未然防止につながると考えられることから、これを長期アウトカムとして設定した。</p>																														
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																																
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標 -	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-																																
<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td> 成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり) </td> </tr> </table>	↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-																														
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																																
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 事業者が、実態調査から得られた示唆や改定ガイドラインの内容を踏まえた行動を採る	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	<p>・上記a、bの実態調査について業界新聞に取り上げられ、当該実態調査の調査結果に対して業界を所管する関係団体から高い評価が得られ、公正な競争環境に向けた協力関係が一層強化された。</p> <p>・また、上記bの実態調査の対象事業者に対し、必要に応じて不当販売の未然防止に向けた取組状況についてヒアリング調査を実施するなどして事業者の改善状況の把握に努める。</p>																																
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																																
	実態調査報告書や改定ガイドラインに対する事業者の認知状況を示す単一の指標が存在しないため。																																
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																																

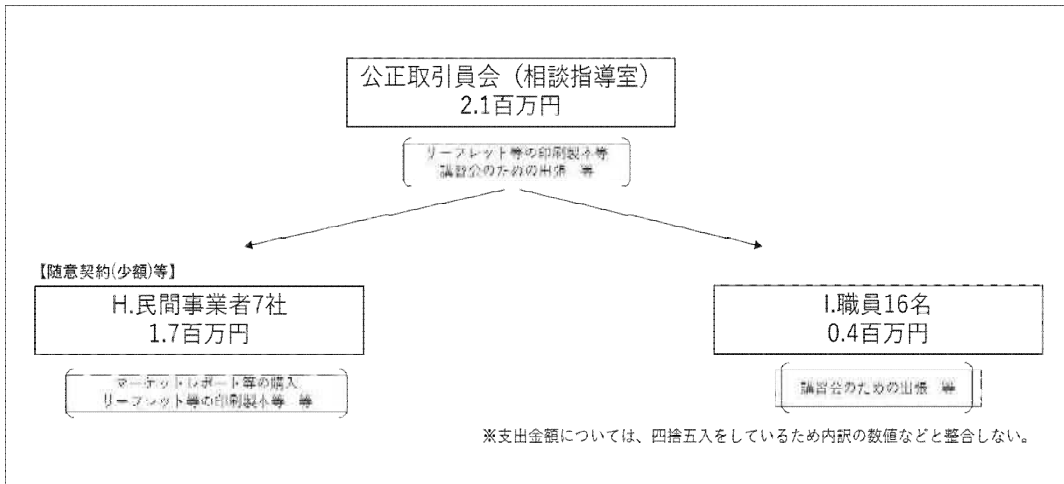
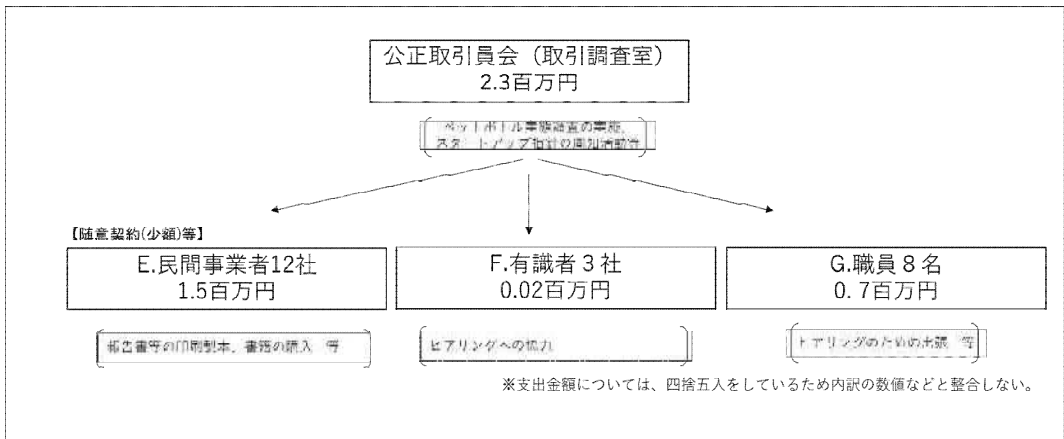
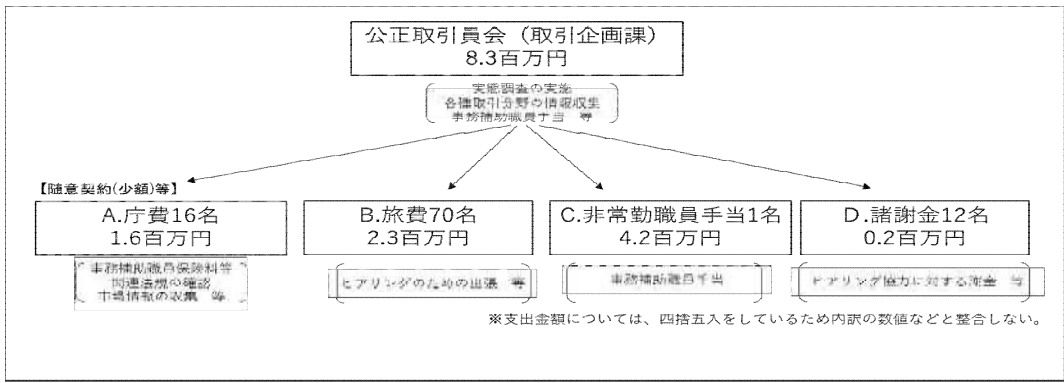
活動内容② (アクティビティ)		【取引調査室】取引実態調査の概要については以下のとおり。 ①調査市場の選定・決定(正式に調査を開始する前の予備調査として、市場概要把握のためのヒアリング等を実施) ②ヒアリング調査、書面調査の実施(協力依頼状、調査票、回答用紙、封筒等を対象事業者に送付) ③書面調査結果の集計・データ分析、回答に基づくヒアリング調査の実施 ④取引実態・提言をとりまとめた報告書の作成、公表を行い、独占禁止法違反行為の未然防止等に取り組む								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		実態調査報告書を毎年度公表し、独占禁止法・競争政策上問題となり得る取引慣行を明らかにし、競争政策上望ましい行為を提言する	調査(フォローアップ調査含む)報告書又は指針の公表件数	活動実績	件	2	1	1	2	2
				当初見込み	件	1	1	1	2	2
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		・効果発現の初期段階として、まず第一に、各調査に係る市場で実際に取引を行う事業者や関係者が、実態調査報告書やそこでの提言内容、指針の内容を把握する必要があることから、事業者や関係者による認知状況を短期アウトカムの成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		公表した実態調査結果や指針を関係業界の事業者や国民に知ってもらう	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・令和3年度は9回、同4年度には11回の講師派遣を行い、令和3年度には680名、令和4年度には873名が講習会に参加(リモート参加含む)するなど、事業者や国民へ報告書等の内容の周知が図られた。また、公正取引委員会ウェブサイトに掲載された調査報告書や指針、関連する報道発表のアクセス件数は、令和2年度は36371件、令和3年度は26382件、令和4年度は66074件であった。								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		・効果発現の最終段階として、実態調査の提言を認知した事業者が、これらの提言を踏まえた行動を採ることにより、業界の取引慣行の是正につながり、各業界における取引慣行の改善・適正化につながると考えられることから、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		事業者が、実態調査の提言内容やガイドラインの内容を踏まえた行動を実施する	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・実態調査を行った業界については、今後、必要に応じてフォローアップ調査を実施するなどして、事業者による提言内容の実施状況や取引慣行の改善状況の把握に努める。 ・(参考)令和4年4月のクレジットカード実態調査の公表後、事業者との間でインターチェンジフィーの標準利率の公開に向けた各種調整が行われ、令和4年11月30日に、国際ブランド3社がインターチェンジフィーの標準利率を公開した(提言内容の実現)。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		・複数の業界等を対象に実態調査を行っていることから、これらについて統一的な定量的指標を設定することが困難であるため								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)	【相談指導室】独占禁止法違反行為を未然に防止するため、事業者等から、これから実施しようとして検討している具体的な事業活動について独占禁止法上問題がないかどうか個別の相談があった場合には、これに回答する。また、独占禁止法違反行為の未然防止に役立てるため、事業者等からの相談のうち、他の事業者等にも参考になると考えられる主要な相談の概要を相談事例集として取りまとめ、毎年公表する。																																			
↓																																				
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標 事業者等からの相談への対応及び相談事例の公表	活動指標 事業者等からの相談件数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> <td>891</td> <td>667</td> <td>920</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績	件	891	667	920	-	-	当初見込み	件	-	-	-	-	-												
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																														
活動実績	件	891	667	920	-	-																														
当初見込み	件	-	-	-	-	-																														
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	独占禁止法違反行為を未然に防止するためには、独占禁止法に係る事業者等からの相談に適切に対応し、事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や 予見可能性を向上させる必要があることから、本成果目標を設定した。																																		
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)	成果目標 事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性の向上	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		成果実績	-	-	-	-	-		目標値	-	-	-	-	-		達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度																															
成果実績	-	-	-	-	-																															
目標値	-	-	-	-	-																															
達成度	%	-	-	-	-																															
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	・事業者等からの相談において、独占禁止法上問題となるおそれがある取組についてはその旨を回答することにより、相談者に対し、当該取組を実施する前に取組の内容を見直す機会を提供したことで、当該事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性が向上したものと考えられる。 ・公正取引委員会ウェブサイトに掲載した相談事例集へのアクセス数は、令和2年度9,983件、令和3年度13,669件、令和4年度27,304件であり、これは独占禁止法上の考え方を理解する上で有効なツールとしての相談事例集に対する事業者等の関心の高さを示すものであると推測される。一定数の相談事例を掲載し、その内容を充実させることで、事業者等が、今後実施しようとする取組と同一又は類似する相談事例から、当該取組が独占禁止法上問題となるか否かをある程度判断することが可能となったものと考えられる。																																			
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性が向上することで、結果的にそれが本事業の目的である独占禁止法違反行為を未然に防止することにつながるから、本成果目標を設定した。																																		
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)	成果目標 -	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		成果実績	-	-	-	-	-		目標値	-	-	-	-	-		達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度																															
成果実績	-	-	-	-	-																															
目標値	-	-	-	-	-																															
達成度	%	-	-	-	-																															
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-																																			
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-																																		
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標 独占禁止法違反行為を未然に防止すること	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標最終年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		成果実績	-	-	-	-	-		目標値	-	-	-	-	-		達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度																															
成果実績	-	-	-	-	-																															
目標値	-	-	-	-	-																															
達成度	%	-	-	-	-																															
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	多数の事業者等が新たな取組を実施するに当たり公正取引委員会に相談し、さらに、当該相談の事例に対する独占禁止法上の考え方が広く多数の事業者等に認知されることによって、事業者等の独占禁止法に対する理解や予見可能性が向上し、独占禁止法違反行為の未然防止が図られたものと考えられる。																																			
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由																																			
	事業者等からの相談に対する回答や公正取引委員会ウェブサイトに掲載した相談事例集へのアクセス数の多寡をもって事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性の向上及び独占禁止法違反行為の未然防止につながったかは、定量的な評価にできないため。																																			
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由																																			

活動内容④ (アクティビティ)		【相談指導室】独占禁止法の運用に当たり、独占禁止法違反行為の未然防止に役立てるため、各種ガイドラインを策定・公表し、どのような行為が独占禁止法上問題となるのかを明らかにしているところ、事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性の更なる向上のため、ガイドラインの説明会を開催したり、事業者等が開催する研修会や講演会に講師を派遣するなどして、ガイドラインの普及・啓発に取り組む。								
↓										
活動目標及び活動実績 (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ガイドラインの普及・啓発	ガイドライン講習会、講師派遣等の参加者数	活動実績 当初見込み	名	2,720	3,740	5,320	-	-
						-	-	-	-	-
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		独占禁止法違反行為を未然に防止するためには、事業者等に独占禁止法に係る各種ガイドラインの普及・啓発を通じて独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性を向上させる必要があるため、本成果目標を設定した。								
成果目標及び成果実績 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性の向上	講習会等のアンケートにおいて、独占禁止法や関連するガイドラインの考え方についての理解が「とても深まった」又は「多少深まった」と回答した参加者の割合	成果実績	%	97.3	95.7	96.5	-	
				目標値	%	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定量的なアウトカムに 関する成果実績		講習会等のアンケート結果								
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性が向上することで、結果的にそれが本事業の目的である独占禁止法違反行為を未然に防止することにつながるから、本成果目標を設定した。								
成果目標及び成果実績 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定量的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		-								
成果目標及び成果実績 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		独占禁止法違反行為を未然に防止すること	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定量的なアウトカムに 関する成果実績		独占禁止法のコンプライアンス活動の一環として独占禁止法に係る各種ガイドラインの講習会に参加する事業者数が一定数あったこと、講習会参加者の各種ガイドラインの理解が高まったとのアンケートに対する回答割合が高かったことから、独占禁止法に係る各種ガイドラインの普及・啓発により、独占禁止法違反行為の未然防止が図られたものと考えられる。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定量的なアウトカムを設定している理由								
		独占禁止法や関連するガイドラインの考え方についての理解度が事業者等の独占禁止法の考え方についての理解や予見可能性の向上及び独占禁止法違反行為の未然防止につながったかは、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容⑤ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	社会保険料の支払い等	1.6	職員旅費	国内出張	2.3
計		1.6	計		2.3
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	事務補助	4.2	諸謝金	ヒアリング等への謝金	0.2
計		4.2	計		0.2
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
経済実態等調査費	報告書の印刷製本 等	1.5	諸謝金	ヒアリング等への謝金	0
計		1.5	計		0
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	国内出張	0.7	庁費	マーケットレポートの購入 等	1.7
計		0.7	計		1.7
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック <input checked="" type="checkbox"/>

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	株式会社矢野経済研究所	3011201005528	マーケットレポートの購入	0.8	随意契約(その他)	-	--		
2	株式会社ハップ	1011701012208	リーフレットの印刷及び封入・ 発送業務	0.5	随意契約(少額)	-	--		
3	株式会社ぎょうせい	1010001100425	特定法令電子版super法令 Web利用に係るライセンス取得	0.1	随意契約(その他)	-	--		
4	株式会社白樺写真工芸	2040001003459	電子書籍に関する相取 書例集(令和3年度)及び挨拶 立の印刷・発送業務	0.1	随意契約(少額)	-	--		
5	株式会社オカモトヤ	1010401006180	翻訳ソフトの購入	0.1	随意契約(少額)	-	--		
6	一般財団法人経済産業調査会	5010005002969	定期刊行物「知財ふりずむ」 の年間購読	0	随意契約(その他)	-	--		
7	一般財団法人知的財産研究 教育財団	1010005016691	定期刊行物「IPジャーナル」の 年間購読	0	随意契約(その他)	-	--		
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	

別紙2

I.			J.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
職員旅費	国内出張	0.4			
計		0.4	計		0
K.			L.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
M.			N.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

令和5年度行政事業レビューシート		公正取引委員会					
事業名	中小事業者を取り巻く取引の公正化	担当部局庁	経済取引局取引部	作成責任者			
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室、取引企画課	亀井 明紀、山本 慎、田邊 貴紀	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	<ul style="list-style-type: none"> 独占禁止法第24条第9項第5号、第19条 下請代金支払遅延等防止法第2条(受事業者、下請事業者等の定義)、第3条(書面の交付)、第4条(受事業者の遵守事項)、第5条(書類等の作成及び保存) 特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律第2条(特定受託事業者、業務委託、業務委託事業者、特定業務委託事業者の定義)、第3条(給付の内訳等の明示等)、第4条(報酬の支払期日等)、第5条(特定業務委託事業者の遵守事項)、第6条(申出等)、第8条(報告)、第9条(命令)、第11条(報告及び検査)、第21条(相談体制の整備)、第22条(指導及び助言) 	関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> 【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 「リモートワークによる組織運営のための組織行儀化推進パッケージ」(内閣府(新しい資本主義実現本部事務局)、関係者庁、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、公正取引委員会)(令和3年12月27日公表) 「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」(令和4年4月26日原油価格・物価高騰等に関する関係閣僚会議決定) 「物価高騰・経済再生実現のための総合経済対策」(令和4年10月28日閣議決定) 「令和5年中小事業者等取引公正化推進アクションプラン」(令和5年3月1日公表) 「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2024」(令和5年6月16日閣議決定) 				
政策	公正な取引慣行の推進	主要経費	その他の事項経費				
施策	中小事業者を取り巻く取引の公正化						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	<p>【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 優越的地位の濫用規制及び下請法(以下「優越的地位の濫用規制等」という。)を普及・啓発、実態調査などを行うことにより、中小事業者に係る取引の公正化を推進し、中小事業者の利益を保護する。 【取引企画課】 個人が事業者として受託した業務に安定的に従事することができる環境を整備するため、特定受託事業者に業務委託をする事業者について、特定受託事業者の給付の内容その他の事項の明示を義務付ける等の措置を講ずることにより、特定受託事業者に係る取引の適正化を図る。</p>						
現状・課題(5行程度以内)	<p>【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 我が国経済の根幹を支える中小事業者が活力を維持することは日本経済の発展にとって不可欠であるが、下請事業者を始めとする中小事業者を取り巻く経済環境は厳しい情勢となっている。そこで、中小事業者に係る取引の公正化と適切な価格転嫁を行える環境の整備を推進し、中小事業者の利益を保護するためには、優越的地位の濫用規制等の違反行為を迅速かつ効果的に排除することはもとより、違反行為の未然防止の一層の積極化が必要である。 【取引企画課】 いわゆるフリーランスが増えている(令和2年内閣官房実態調査で約462万人と推計)一方、フリーランスは「個人」、すなわち従業員を雇わず一人で業務を行う形態のため、「組織」として事業を行う企業等の発注事業者との間で交渉力などに格差が生じやすく、同実態調査によれば、フリーランス全体のうち約4割が「報酬が支払われない」「一方的に仕事内容を変更される」等のトラブルを経験している。</p>						
事業概要(5行程度以内)	<p>【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 ・実態調査を実施するに当たって、書面調査の対象事業者に対して調査票を送付し、書面調査結果等を踏まえ、より具体的かつ詳細に事業活動を確認すべき事業者に対するヒアリングの実施等を行い、優越的地位の濫用規制等で問題となり得る行為が行われていないか等の観点から取引実態を把握し、違反行為の未然防止等に取り組み。 【取引企画課】 ・特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律(以下「フリーランス・事業者間取引適正化等法」という。)に関して、実態を踏まえた政令、規則を制定し、予見可能性の向上に向けてガイドラインを制定する(以下、政令・規則・ガイドラインを合わせて「下位法令等」という。)ほか、特定受託事業者及び特定受託事業者に業務委託をする事業者(以下「発注事業者」という。)に対して本法についての周知広報活動を行うことで本法についての理解を高め、本法違反行為を未然に防止する。また、フリーランス・トラブル110番等により情報を収集し、本法に違反する疑いのある行為について所要の調査を行い、違反行為が認められた場合には勧告や指導等の措置を講ずる。</p>						
事業概要URL	https://www.jftc.go.jp/partnership_package/index.html https://www.jftc.go.jp/shitauke/						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	75	78	101	307	685
		補正予算(B)	-	146	39	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	146	38	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲146	▲38	-	-
		予備費等(E)	▲41	▲4	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	34	74	248	345	685
		執行額(G)	39	46	132	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	115%	62%	53%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	52%	21%	94%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		重要政策推進枠 486				
(目)	非常勤職員手当	160	409				
(目)	経済実態等調査費	86	154				
(目)	競争政策推進委託費	35	78				
(目)	庁費	8	0				
(目)	審査活動旅費	8	22				
(目)	審査活動費	6	20				
(目)	-	-	-				
(目)	-	-	-				
(目)	-	-	-				
(目)	その他	4	3				
計(A)		307	685				

活動内容① (アクティビティ)	書面調査の対象事業者に対して調査票を送付し、書面調査結果等を踏まえ、より具体的かつ詳細に事業活動を確認すべき事業者に対するヒアリングの実施等を行い、問題につながるおそれのある行為が認められた場合には、注意喚起を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
<small>優越的地位の濫用規制等に違反する行為の未然防止のため、問題につながるおそれのある行為(買いたたき等)に対して迅速かつ確に対処するとともに、調査により把握した取引実態を公表する</small>			注意喚起件数	活動実績 件	644	641	4,807	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	上記のとおり、優越的地位の濫用規制等について問題につながるおそれのある行為についての注意喚起及び取引実態の公表により、違反行為の未然防止を図ることによって、事業者間の取引の公正化を図るとともに、中小事業者の利益が保護されると考えられる。 なお、下請法等違反行為の未然防止の観点から、下請取引適正化のための普及・啓発の取組として、例えば、下請取引適正化推進講習会を令和2年度に32件、令和3年度に18件実施するとともに、対面式講習会に準じて、講習会テキストの内容を繰り返し習得できる講習動画を新たに作成し、令和3年度からWeb上で公開している。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
<small>問題につながるおそれのある行為の取りやめなどによって、優越的地位の濫用規制等に違反する行為の未然防止が図られる。</small>			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
アウトプットについては、優越的地位濫用等の未然防止のため、問題につながるおそれのある行為に対して迅速かつ確に対処するために注意喚起を行っている。一定の数値を達成すれば問題につながるおそれのある行為が行われなくなるものではないことから、定量的な長期アウトカムを設定することは困難である。									
アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
注意喚起及び取引実態の公表によって発生する違反行為の未然防止がアクティビティの目的であるため。									

活動内容② (アクティビティ)	フリーランス・事業者間取引適正化等法の下位法令等を制定する。下位法令等の内容の検討に当たっては、実態を踏まえた内容とすべく、フリーランスに対する実態調査を行うほか、各業界の特殊性を踏まえた検討を行うべく、様々な業界の発注事業者・特定受託事業者と意見交換を行う。(令和5年度限り)									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	発注事業者・特定受託事業者との意見交換をし、実態を踏まえた下位法令等を制定する。	発注事業者・フリーランスとの意見交換の開催回数	活動実績 当初見込み	回	-	-	-	-	8	-
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	フリーランス・事業者間取引適正化等法の適用対象となる発注事業者・特定受託事業者からの意見を踏まえた下位法令等を制定することで、発注事業者・特定受託事業者にとって実態に即した下位法令等の制定が可能となる。その結果、発注事業者が当事者意識を持って施行準備に取り組むようになる結果、発注事業者におけるコンプライアンス意識が向上するといえる。また、特定受託事業者においては、自らが受けている行為が法律に違反するか否か理解しやすくなり、公取委等の当局に違反被疑情報を提供しやすくなるため。									
	成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
発注事業者におけるコンプライアンス意識の向上	-	-	成果実績	件	-	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	実態調査などを通じてコンプライアンス意識の状況について継続的に確認する。									
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	発注事業者におけるコンプライアンス意識の向上によって、発注事業者が特定受託事業者に業務委託する際のスキームを変更するなどの行動を起こすことで、フリーランス・事業者間取引適正化等法違反行為の未然防止が期待されるとともに、違反被疑行為情報の収集につながり、ひいては、本事業の目的であるフリーランス・事業者間取引適正化等法の趣旨に沿った適正な取引の増加に繋がると考えられるため。									
	成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
-	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-									
	成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律違反行為の未然防止	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	フリーランス・事業者間取引適正化等法に違反しない態様で業務委託を行うようになることで、本法違反が未然に防止されること。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	短期アウトカムについて、コンプライアンス意識という法律の認知状況・遵法意識のみを示す定量的な指標はないため。 長期アウトカムについて、法律違反が「ない」状況を定量的に捕らえることは不可能であるところ、法律違反行為の未然防止の定量的な指標もないため。									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
	-									

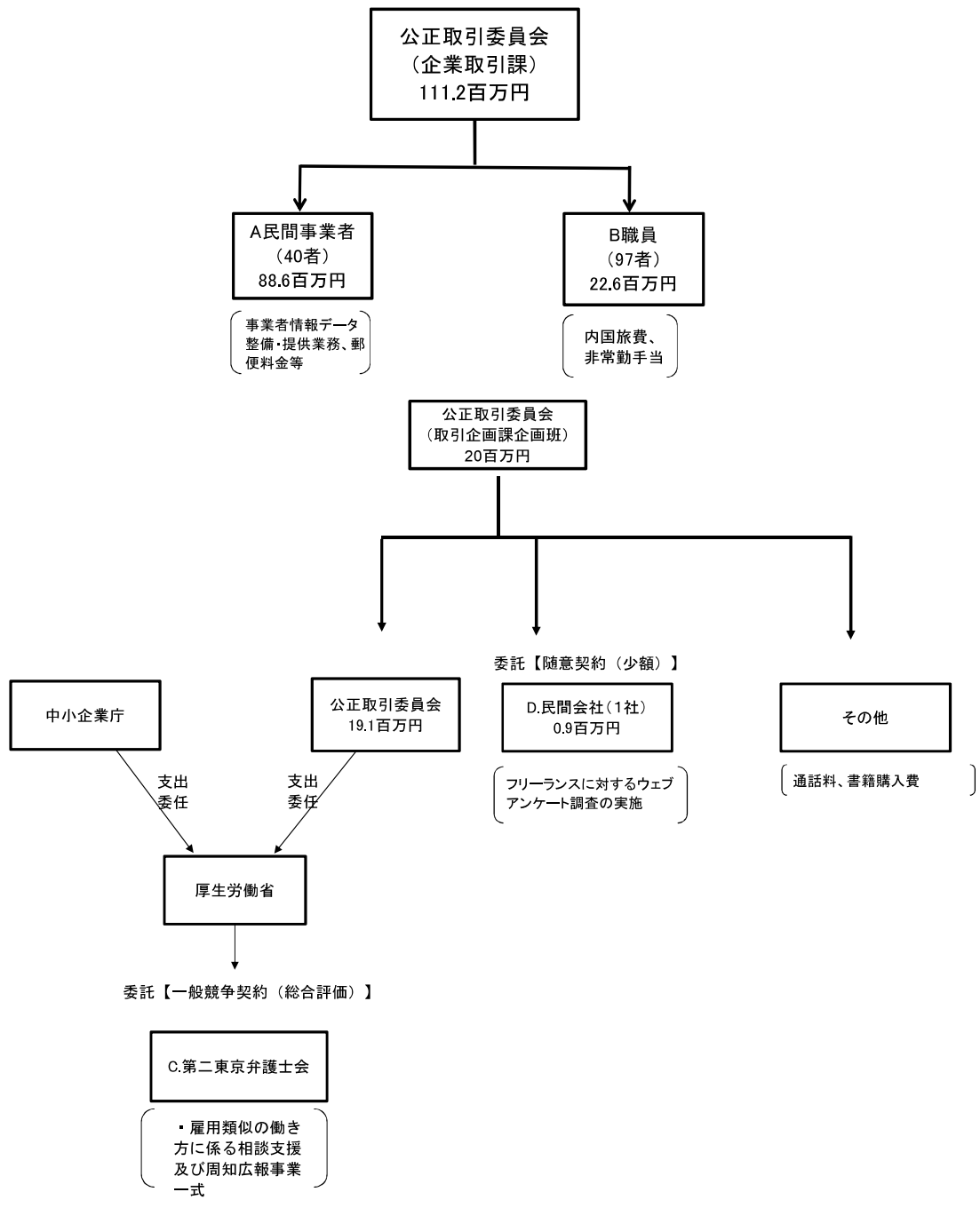
活動内容③ (アクティビティ)		特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律及びその下位法令等について、フリーランスや発注事業者等に対して説明会を行ったり、動画・ポスターを公表したりすることで、広報・周知を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		主催説明会や講師派遣による発注事業者及びフリーランスに対するフリーランス・事業者間取引適正化等法及びその下位法令等を説明すること	各種説明会参加者の合計人数	活動実績	人	-	-	-	-	-
				当初見込み	人	-	-	-	400	-
↓										
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		説明参加者は新たに新法を理解した人の数であるところ、説明会参加者の人数が増えれば、発注事業者及びフリーランスの新法に対する理解が向上したといえるため。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		発注事業者及びフリーランスにおけるフリーランス・事業者間取引適正化等法の理解の向上	各種説明会後の理解度アンケートにおける「よく理解できた」「理解できた」の回答割合	成果実績	%	-	-	-	-	-
				目標値	%	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓										
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		説明会後に行うアンケート結果を踏まえ講演者のPDCAサイクルを回すことで、講演の質の向上が見込まれるため、より効果的な講演の実施が見込まれることにより、より効果的な未然防止に繋がるとともに、違反被疑行為情報の収集につながり、ひいては、本事業の目的であるフリーランス・事業者間取引適正化等法の趣旨に沿った適正な取引の増加に繋がると考えられるため。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度	
				成果実績	件	-	-	-	-	-
				目標値	件	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓										
成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		-								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律違反行為の未然防止		成果実績	-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		発注事業者が、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律に違反しない態様で業務委託を行うようになることで、本法違反が未然に防止されること。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		長期アウトカムについて、法律違反が「ない」状況を定量的に捕らえることは不可能であるところ、法律違反行為の未然防止の定量的な指標もないため。								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容④ (アクティビティ)		発注事業者やフリーランスからの相談対応、申告受理、110番からの事案の吸い上げ及び実態調査により情報を収集し、フリーランス・事業者間取引適正化等法違反の疑いのある行為について所要の調査を行い、違反行為が認められた場合には、勧告や指導等の措置を講ずる。(令和6年度以降)									
↓											
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		フリーランス・事業者間取引適正化等法に違反する発注事業者の行為に対して迅速かつ的確に対処する。	違反事件の措置件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
				当初見込み	件	-	-	-	-	-	-
↓											
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓											
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓											
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		フリーランス・事業者間取引適正化等法に違反する発注事業者の行為に対して迅速かつ的確に対処することで、措置を受けた発注事業者が本法違反行為を取りやめるため。									
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度		
		フリーランス・事業者間取引適正化等法違反行為等の解消		成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		フリーランス・事業者間取引適正化等法に違反する発注事業者に対し、措置を採った結果、発注事業者による違反行為が取りやめられた。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
		違反行為の態様やその解消の状況は事件ごとに様々であり、一概に指標でそれを検証することは困難であることから。									
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									
		違反行為に対し措置をとることは、通常すぐに違反行為等の解消につながるため、アウトカムを時系列的に設定することができないこと、また、違反行為等の解消という状態はアクティビティの最終目標に相当するため。									

活動内容⑤ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標	△	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
					活動実績					
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		成果目標	定量的な成果指標	△	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		成果目標	定量的な成果指標	△	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		成果目標	定量的な成果指標	△	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								

事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称															
	URL															
	該当箇所															
事業所管部局による点検・改善																
点検結果	<p>【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 昨今のコスト上昇の状況等を踏まえると、中小事業者等の取引適正化に対する国民や社会のニーズは高いと考えられ、「経済財政運営と改革の基本方針2023」(令和5年6月16日閣議決定)において、「中堅・中小企業の活力向上」として、「優越的地位の濫用に関する特別調査、重点5業種に対する立入調査の実施等、原材料費やエネルギーコストの適切なコスト増加分の全額転嫁を目指し、取引適正化を推進する。」とされており、政府を挙げた取組として実施することが求められていることから、国民や社会のニーズが高いことが伺える。 令和4年度は、実態調査において、書面調査の対象事業者に対して調査票を送付し、書面調査結果等を踏まえ、発注事業者と受注事業者との間で協議を経ない取引価格の据置き等が疑われる事業について立入調査等を実施し、優越的地位の濫用規制等について、問題につながるおそれのある行為が認められた場合には、注意喚起を行うとともに調査結果の公表を行った。これらの活動により、優越的地位の濫用規制等の違反行為の未然防止が図られ、着実に本事業の目的である中小事業者の利益の保護につながっているものと考えられる。</p>														目標年度における効果測定に関する評価(令和6年度実施)	
	改善の方向性	<p>【企業取引課、優越的地位濫用未然防止対策調査室】 引き続き、優越的地位の濫用規制等について、書面調査、立入調査等を実施し、問題につながるおそれのある行為が認められた場合には、注意喚起を行うとともに調査結果の公表を行うことで、違反行為の未然防止を図ることとする。</p>														
外部有識者の所見																
令和5年度政策評価・行政事業レビュー外部有識者合同会議事録のとおり(URL: https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/hyokaiin.html)。																
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																
現状通り	活動内容①について、「アウトプットからのつながり」に下請取引適正化のための普及・啓発に係る取組を追記してはどうか。 活動内容①について、「定性的なアウトカムに関する成果実績」に定性的なアウトカムのファクト・エビデンスを追記してはどうか。															
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																
現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見どおり、引き続き本事業を継続することが適当と考える。 また、同推進チームの所見を踏まえ、レビューシートの実績内容①の記載を修正した。															
過去に受けた指摘事項と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ															
	上記への対応状況															
	その他の指摘事項															
備考																
<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度行政事業レビューにおいて、事業単位の見直しを行ったため、事業内容・予算額等に差異がある。 令和5年3月1日策定の「令和5年中小事業者等取引公正化推進アクションプラン」に係る事業は、本事業の一部及び「下請法違反行為に対する措置(2023-公取-新23-0005)」の一部から 																
関連する過去のレビューシートの事業番号																
平成23年度																
平成24年度																
平成25年度																
平成26年度																
平成27年度																
平成28年度																
平成29年度																
平成30年度																
令和元年度																
令和2年度																
令和3年度																
令和4年度	2022	公取	新22	0009		2022	公取	新22	0010		2022	公取	21	0006		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
経済実態調査費	郵便料金等	31	職員旅費	内国旅費	5.2
審査活動費	事業者情報データ整備・提供業務等	39.9	非常勤職員手当		17.4
庁費	郵便料金等	16.6			
諸謝金	意見聴取謝金	1.1			
計		88.6	計		22.6
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
競争政策推進委託費	「フリーランス・トラブル110番」外部委託事業	19.1	競争政策推進委託費	ウェブアンケート調査委託費用	0.9
計		19.1	計		0.9
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0005

令和5年度行政事業レビューシート							(公正取引委員会)		
事業名	下請法違反行為に対する措置			担当部局庁	経済取引局取引部、官房		作成責任者		
事業開始年度	昭和31年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	下請取引調査室、会計室		藤谷 義秀、多田 修		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	下請代金支払遅延等防止法第2条(製造委託、修理委託、情報成果物作成委託、役務提供委託、親事業者、下請事業者等の定義)、第3条(書面の交付等)、第4条(親事業者の遵守事項)、第5条(書類等の作成及び保存)、第7条(勧告)、第9条(報告及び検査)			関係する計画、通知等	<small> *新しい資本主義のスタートライン(及び実行計画)「令和4年6月7日閣議決定」 *成長と分配の好循環を実現するための競争環境の整備について「令和4年6月19日 自由民主党政務調査会・競争政策推進委員会」 *コロナ禍における「単身赴任・帰国後等就業支援等」(令和4年4月28日厚労部発・労働基準局長等に関する閣内閣議決定) *「労働者派遣法」による働き方改革の推進(令和4年11月18日閣議決定) </small>				
政策	公正な取引慣行の推進				主要経費	その他の事項経費			
施策	下請法違反行為に対する措置								
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html			下請代金の支払遅延等を防止することによって、親事業者の下請事業者に対する取引を公正ならしめるとともに、下請事業者の利益を保護する。					
事業の目的(5行程度以内)									
現状・課題(5行程度以内)	下請取引においては、親事業者の下請法違反行為により下請事業者が不利益を受けている場合であっても、その取引の性格から、下請事業者からの自発的な情報提供が期待しにくい実態にあるため、公正取引委員会は、親事業者及びこれらと取引している下請事業者を対象として定期的な調査を実施するなど違反行為の発見に努めている。これらの調査の結果、違反行為が認められた親事業者に対しては、その行為を取りやめさせるほか、下請事業者が被った不利益の原状回復措置等を講じさせている。								
事業概要(5行程度以内)	書面調査等により情報を収集し、下請法に違反する疑いのある行為について所要の調査(実地調査、招致調査等)を行い、違反行為が認められた場合には、勧告又は指導の措置を講ずる。								
事業概要URL									
実施方法	直接実施、委託・請負								
補助率等									
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	130	138	169	178	144		
		補正予算(B)	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	▲1	-	-		
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	130	138	168	178	144		
		執行額(G)	113	101	141	-	-		
		執行率(%) =(G)/(F)	87%	73%	84%	-	-		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	87%	73%	83%	-	-		
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)				
(項)	公正取引委員会								
(目)	審査活動費	98	109						
(目)	非常勤職員手当	69	26						
(目)	審査活動旅費	8	7						
(目)	庁費	0.5	0.4						
(項)	情報通信技術調達等適正・効率化推進費								
(目)	情報処理業務庁費	2	2						
	その他	0	▲0						
	計(A)	178	144						

活動内容① (アクティビティ)	書面調査等により情報を収集し、下請法に違反する疑いのある行為について所要の調査(実地調査、招致調査等)を行い、違反行為が認められた場合には、勧告又は指導の措置を講ずる。																																
↓																																	
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 下請法に違反する親事業者による下請代金の支払遅延、減額等に対して迅速かつ的確に対処する。	活動指標 違反事件の措置件数	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件数</td> <td>8,111</td> <td>7,926</td> <td>8,671</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績	件数	8,111	7,926	8,671	-	-	当初見込み	-	-	-	-	-	-									
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																											
活動実績	件数	8,111	7,926	8,671	-	-																											
当初見込み	-	-	-	-	-	-																											
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	下請法に違反する親事業者に対する勧告及び指導において、違反行為の取りやめ及び下請事業者が被った不利益の原状回復を命じているため。																															
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 親事業者による違反行為が取りやめられる。 下請事業者の利益が回復する。	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	○令和4年度においては、原材料価格の上昇等を背景とした価格転嫁を拒否した行為に対して初めて買ったときとして勧告を行ったことを始めとして、下記の措置を採った結果、親事業者による違反行為が取りやめられた。 ・違反事件の措置件数(令和2年度:8,111件、令和3年度:7,926件、令和4年度:8,671件) ○また、公正取引委員会が措置を行った結果、下記のとおり親事業者による原状回復が行われ、下請事業者の利益が回復した。 ・公正取引委員会の措置によって原状回復された下請事業者の利益(令和2年度は総額5億3992万円相当、令和3年度は5億5995万円相当、令和4年度は11億3465万円相当)																																
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	公正取引委員会からの措置を受けて違反行為を取りやめた親事業者が、将来にわたって違反行為を行わないことにより、本事業の目的である下請取引の公正化の推進及び下請事業者の利益の保護につながると考えられるため。																															
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標 -	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	-																																
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-																															
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 違反行為の取りやめなどにより下請事業者の利益保護が図られる。	定量的な成果指標 -	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 -年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	成果実績	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-						
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度																												
成果実績	-	-	-	-	-																												
目標値	-	-	-	-	-																												
達成度	%	-	-	-	-																												
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	上記のとおり下請代金の支払を遅延するなどの下請法違反被疑事件を処理することによって、下請取引の公正化を図るとともに、下請事業者の利益が保護されることが考えられる。																																
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																																
	下請法に違反する親事業者による下請代金の支払遅延、減額等に対して迅速かつ的確に対処するために勧告及び指導を行っているところ、一定の数値を達成すれば親事業者による違反行為が行われなくなるものではないことから、定量的なアウトカムを設定することは困難である。																																
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																																

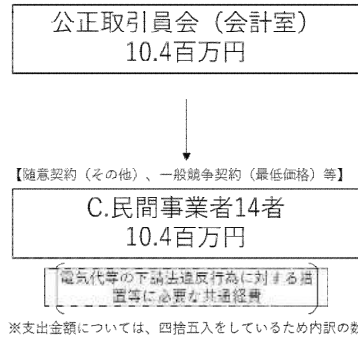
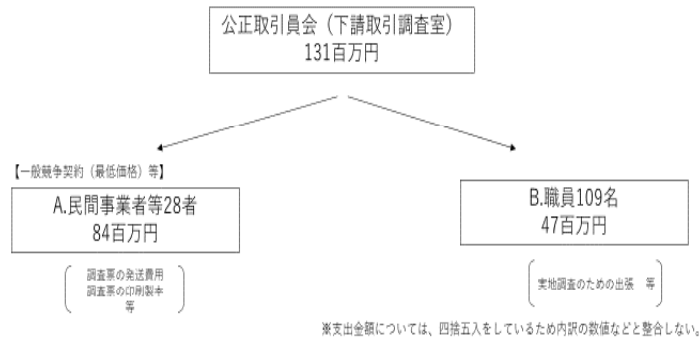
活動内容② (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績 当初見込み						
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容④ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
				当初見込み						
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)														
↓														
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr><td></td></tr> <tr><td>活動実績</td></tr> <tr><td>当初見込み</td></tr> </table>		活動実績	当初見込み	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
活動実績														
当初見込み														
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)												
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr><td></td></tr> <tr><td>成果実績</td></tr> <tr><td>目標値</td></tr> <tr><td>達成度</td></tr> </table>		成果実績	目標値	達成度	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		成果実績												
目標値														
達成度														
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績												
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)												
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr><td></td></tr> <tr><td>成果実績</td></tr> <tr><td>目標値</td></tr> <tr><td>達成度</td></tr> </table>		成果実績	目標値	達成度	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		成果実績												
目標値														
達成度														
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績												
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)												
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr><td></td></tr> <tr><td>成果実績</td></tr> <tr><td>目標値</td></tr> <tr><td>達成度</td></tr> </table>		成果実績	目標値	達成度	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		成果実績												
目標値														
達成度														
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績												
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由												
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由												

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
審査活動費	大量発送郵便料金等	80.3	非常勤職員手当	給与	47
非常勤職員手当	社会保険料等	1.9			
情報処理業務庁費	下請取引事務処理システムの簡易入力システム及び判別システムの作成	1.7			
計		83.9	計		47
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	光熱水料の一部負担等	7.7			
審査活動費	ICカードのチャージ等	2.7			
計		10.4	計		
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者につ
 いて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

事業番号

2023 - 公取 - 新23 - 0006

令和5年度行政事業レビューシート

(公正取引委員会)

事業名	競争政策の広報・広聴			担当部局庁	官房、経済取引局	作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	官房総務課、局総務課、会計室	稲熊 克紀、深町 正徳、多田 修	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	(活動内容4について) 令和4年5月20日 公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針(閣議決定) 平成19年1月26日 第166回国会施政方針演説		
政策	競争政策の普及啓発等			主要経費	その他の事項経費		
施策	競争政策の広報・広聴						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5程度以内)	消費者、事業者、学生等幅広い国民層に対して、公正取引委員会の活動内容、独占禁止法や下請法の内容について幅広く情報提供を行い、国民各層からの意見、要望を的確に把握することによって、競争政策について国民各層の理解の増進を図るとともに、独占禁止法や下請法の違反行為の未然防止を図る。また、入札談合等関係行為防止法に係る発注機関を対象とした入札談合等関係行為防止法・独占禁止法の研修の実施等を通じて、当該発注機関における入札談合等の防止に係る意識・取組内容の向上を図ることによって、発注機関に対して競争政策の定着を図り、競争的な市場環境を創出する。						
現状・課題(5程度以内)	公正取引委員会は、各種広報イベント、公正取引委員会のウェブサイト及びSNS(Twitter、Facebook)において情報発信を行っているものの、競争政策に対する国民の理解が十分には進んでいないと考えられる。また、公正取引委員会は、社会経済の急速な変化等に迅速かつ的確に対応した競争政策を行っている必要があるところ、このように日々変化していく競争政策について随時国民の理解・支持を得ていく必要がある。このため、引き続き各種広報活動を積極的に実施していくとともに、国民各層の意見・要望を的確に把握していく必要がある。 発注機関における入札談合の未然防止について、入札談合は、独占禁止法が禁止する不当な取引制限の典型事例であり、最も悪質な独占禁止法違反行為の1つである。また、公共調達における入札談合は、入札参加者間の公正かつ自由な競争を通じて受注者や受注価格を決定しようとする入札システムを否定するものであり、予算の適正な執行を阻害し、納税者である国民の利益を損ねる行為ともなる。それにもかかわらず、入札談合事件は依然として後を絶たず、中には、発注機関職員が関与する、いわゆる「官製談合」事件も見受けられることから、発注機関に対する入札談合等の防止のための研修が必要である。						
事業概要(5程度以内)	①独占禁止法違反事件に対する法的措置、実態調査報告書等の内容について幅広く報道発表等を行い、これをウェブサイトに公表するとともに、国民の幅広い層に対してSNSにより報道発表等を積極的に発信している。 ②独占禁止法教室(将来の経済の担い手となる中高生・大学生を対象に、職員が講師として競争の重要性や公正取引委員会の役割等の講義を行うもの)、消費者セミナー(消費者を対象として対話型、参加型で実施するイベント)、一日公正取引委員会(独占禁止法等の講演会、相談コーナー等を一か所の会場で開催)等の広報イベントを実施している。 ③独占禁止懇話会(年3回程度、時宜を得た議題を設定の上、広く各界の有識者と意見交換を実施するもの)、地方有識者との懇話会(全国の様々な地域に所在する有識者との間で意見交換を実施するもの)、独占禁止協力委員制度(各地域の有識者約150名に独占禁止政策協力委員を委嘱し、意見要望の聴取を行い、政策実施の参考とするもの)等の広聴活動を実施している。 ④発注機関における入札談合の未然防止について、入札談合等関係行為防止法に係る発注機関の職員が入札談合等防止のための意識を高め、その取組を向上させるとともに、入札談合等に関与することがないようにするため、入札談合等関係行為防止法・独占禁止法に係る研修を実施している。						
事業概要URL	[SNS]https://twitter.com/jftc_ 等、(広報イベント)https://www.jftc.go.jp/houdou/kohokatsudo_2/dokin/index.html 等、(地方有識者との懇話会)https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/kenkyukai/tihoyusiki/index.html 等、(官製法)https://www.jftc.go.jp/event/kousyukai/kandapoukensyu.html 等						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等							
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	33	40	42	37	67
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	▲12	▲7	-	-	-
		計(F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	21	33	42	37	67
		執行額(G)	15	27	34	-	-
		執行率(%)=(G)/(F)	71%	82%	81%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)=(G)/{(A)+(B)}	45%	68%	81%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		広報活動の強化による増のため。				
(目)	職員旅費	12	12				
(目)	庁費	11	5				
(目)	競争政策推進委託費	9	40				
(目)	諸謝金	3	3				
(目)	委員等旅費	0.8	1				
(目)	経済実態等調査費	0	6				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	その他	▲0	0				
	計(A)	37	67				

活動内容① (アクティビティ)	独占禁止法等の事件処理、実態調査等の報道発表等を公正取引委員会のウェブサイト公表するとともに、公正取引委員会公式SNS(Twitter、Facebook)により報道発表等の投稿を行い、国民に情報発信を行う。										
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込		
	ウェブサイト・SNSにおける情報発信を実施し、国民各層に対し競争政策について幅広く情報提供を行う	Twitterによる投稿数	活動実績	件数	371	402	448	-	-		
			当初見込み	件数	-	-	-	450	450		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、公正取引委員会のウェブサイトや公正取引委員会公式SNSで発信している情報を契機として、SNS等を利用している国民各層が競争政策の内容を知り、関心を高める必要があることから、SNS等の利用者における競争政策に対する認知状況、関心の向上を短期アウトカムの成果目標として設定した。									
		成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		公正取引委員会公式SNS等で発信している情報を契機として、SNS等の利用者が、競争政策の内容を知り、関心を高める	Twitterの1投稿当たりの平均インプレッション数(投稿の閲覧数)	成果実績	件数	12,676.3	11,076.9	18,619.9	-		
				目標値	件数	-	-	-	13,000		
				達成度	%	-	-	-	-		
	成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	SNSのインプレッション数は、公正取引委員会の投稿がユーザーに実際に表示された回数(投稿の閲覧数)を示すものであるため、競争政策に対する認知状況、関心の向上を示す成果指標の一つとなる。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	効果発現の最終段階として、競争政策に対して関心を高めた国民がSNSのフォロワーとなり、当該フォロワー数が増加していくことで、公正取引委員会が発信する情報を継続的に閲覧する国民が増加し、競争政策に対する国民各層の理解が増進することから、これを長期アウトカムとして設定した。									
		成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
	成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-									
		成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		公正取引委員会公式SNSのフォロワー数が増加することにより、競争政策に対する国民各層の理解が増進する	Twitterのフォロワー数	成果実績	件数	67,560	73,303	82,643	-		
				目標値	件数	-	-	-	89,000		
				達成度	%	-	-	-	-		
	成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	公正取引委員会公式SNSのフォロワーは、公正取引委員会の発信している情報を継続的に閲覧していると考えられ、当該フォロワー数が増加することにより、競争政策に対する国民の理解が増進していくことから、SNSのフォロワー数を成果指標とした。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由										
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由										

活動内容② (アクティビティ)		国民各層を対象とした広報イベント(一日公正取引委員会、消費者セミナー、独占禁止法教室等)を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		各種広報イベントを実施し、国民各層に対し競争政策について幅広く情報提供を行う	独占禁止法教室の開催件数	活動実績 当初見込み	件数	134	173	220	-	-
					件数	-	-	-	191	191
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		効果発現の初期段階として、公正取引委員会が独占禁止法教室、消費者セミナー、一日公正取引委員会等の国民各層を対象とした広報イベントを開催することにより、当該広報イベント参加者が競争政策の内容を知り、関心を高める必要があることから、広報イベント参加者の競争政策の認知状況、関心の向上を短期アウトカムの成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		広報イベントを通じて、参加者が競争政策の内容を認知し、関心を高める	独占禁止法教室開催後のアンケートにおいて、競争の重要性等の理解に関する質問で「理解が深まった」等と回答した参加者の割合	成果実績	%	90	91	94	-	
				目標値	%	80	80	80	80	
				達成度	%	112.5	113.8	117.5	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		上記成果実績は、中高生及び大学生向けの独占禁止法教室に関するアンケートにおいて、競争の重要性等に対する理解の向上に関する質問事項について、「理解が深まった」、「やや深まった」と回答した参加者の割合であり、広報イベント参加者の競争政策の認知状況、関心の向上を示す成果指標の一つとなる。 一日公正取引委員会(令和4年度)で実施している独禁法講演会に関するアンケートにおいて、競争の重要性等に対する理解の向上に関する質問事項について、「理解が深まった」、「やや深まった」と回答した参加者の割合が80%以上になることを目標としていたところ、当該回答をした参加者の割合は86.3%であり、目標を達成している。 消費者セミナーに関するアンケートにおいて、競争の重要性等に対する理解の向上に関する質問事項について、令和2年度から令和4年度まで、「理解が深まった」、「やや深まった」と回答した参加者の割合が80%以上になることを目標としていたところ、当該回答をした参加者の割合は、令和2年度が85%、令和3年度が88%、令和4年度が88.5%であり、いずれの年度も目標を達成している。								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		効果発現の最終段階として、広報イベントを繰り返し開催し、競争政策に対する関心を高めた参加者が増加することにより、当該参加者の中で、自ら公正取引委員会のウェブサイトの報道発表等を閲覧したり、SNSの報道発表等に関する投稿を閲覧したりする者も増加していき、それによって、競争政策に対する国民各層の理解が進展すると考えられることから、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-								
↓		成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 -年度	
		広報イベント参加者が増加することにより、競争政策に対する国民の理解が進展する	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		・独占禁止法教室への参加人数の増加により、国民全体の競争政策への理解が進展したと考えられる。なお、独占禁止法教室の累計参加人数は令和2年度において60,281人、令和3年度において71,558人、令和4年度において88,088人である。 ・各種広報イベントでは競争政策の内容を説明するだけでなく、公正取引委員会のウェブサイトや公正取引委員会公式SNSも紹介することで、参加者自ら公正取引委員会のウェブサイトの報道発表等を閲覧したり、SNSの報道発表等に関する投稿を閲覧したりすることを促している。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		広報イベント参加者の増加が、競争政策に対する国民の理解の増進に具体的にどの程度結びついたかについては、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容③ (アクティビティ)	国民各層を対象とした広聴活動(独占禁止懇話会、地方有識者との懇談会、独占禁止政策協力委員制度等)を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	各種広聴活動を実施し、国民各層から意見・要望を把握する	地方有識者との懇談会の開催件数	活動実績 当初見込み	件数	58	64	106	-	-	
				件数	85	85	87	87	87	
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、地方有識者との懇談会等による聴取対象者とのコミュニケーションを通じて、地方有識者等から意見・要望が提出され、それを的確に把握する公正取引委員会が受益者となることから、公正取引委員会が聴取対象者の意見・要望を的確に把握することを短期アウトカムの成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	広聴活動における聴取対象者とのコミュニケーションを通じて、聴取対象者の競争政策に対する理解の増進を図るとともに、聴取対象者の意見・要望を的確に把握する	地方有識者との懇談会に出席した有識者の人数	成果実績	人数	590	1,025	1,574	-		
			目標値	人数	-	-	-	1,400		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	・公正取引委員会は、地方有識者との懇談会等において、出席した有識者から意見を聴取しており、聴取した意見の数が直接的な指標となることから、当該意見数を算定することは困難であることから、出席した有識者の人数を成果指標とした。									
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	効果発現の最終段階として、公正取引委員会が、地方有識者等の聴取対象者から意見・要望を的確に聴取した上で、その意見・要望を競争政策に反映することにより、競争政策に対する国民の理解が増進することになるため、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 -年度		
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度		
	聴取対象者から聴取した意見・要望を競争政策に反映する	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	・地方有識者等の聴取対象者からの意見・要望は、公正取引委員会事務局全体で共有するとともに、公正取引委員会の競争政策に反映している。 ・聴取対象者からの意見・要望として、例えば、「公正取引委員会が出す報告書が社会に与える影響は大きいので今後も積極的に実態調査を進めてほしい」といった様々な分野の実態調査を求める意見・要望があり、これを競争政策に反映させて積極的に実態調査を進めているなど、聴取対象者から寄せられた意見・要望を競争政策に反映している(直近では、独占禁止法上の優越的地位の濫用に係るコスト上昇分の価格転嫁円滑化の取組に関する特別調査(R5.5~)、EVの充電サービスに関する実態調査(R5.4~)、コネクテッドTV関連分野の実態調査(R5.3~)といった実態調査を開始している。)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由									
	地方有識者等の聴取対象者からの意見・要望に関する競争政策への反映状況については、定量的な成果指標を示すことができないため。									
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容④ (アクティビティ)	入札談合等関与行為防止法に係る発注機関に対し、入札談合等関与行為防止法・独占禁止法の研修を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	入札談合等関与行為防止法・独占禁止法の研修の実施	研修の実施回数	活動実績	回	158	217	261	-	-	
			当初見込み	回	200	200	200	200	200	
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	入札談合等関与行為防止法・独占禁止法の研修の実施によって、発注機関の職員が入札談合等防止のための意識を高め、その取組を向上するために十分な理解を得る指標として、研修後のアンケートでの理解度90%を短期アウトカムで設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度		
	理解度90%以上	研修後のアンケートにおいて入札談合等関与行為防止法等への理解度が「深まった」又は「多少深まった」と回答した参加者の割合	成果実績	%	95.5	95.5	95.9	5年度		90
			目標値	%	90	90	90	6年度		90
			達成度	%	106.1	106.1	106.6	100		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和2年度から令和4年度の間、いずれも成果目標を上回る実績であった(出典:研修後アンケート)。									
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	入札談合等関与行為防止法・独占禁止法の研修の実施等を通じて、当該発注機関における入札談合等の防止のための取組を支援・促進することで、入札談合等の防止に係る意識・取組内容の向上を図ることによって、発注機関に対して競争政策の定着を図り、入札談合等が未然に防止されることで、もって、競争的な市場環境が創出されるため。								
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度		
	-	-	成果実績	%	-	-	-	-		-
			目標値	%	-	-	-	-		-
			達成度	%	-	-	-	-		-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度		
	発注機関における入札談合・官製談合の未然防止	-	成果実績	-	-	-	-	-		-
			目標値	-	-	-	-	-		-
			達成度	%	-	-	-	-		-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	上記のとおり、発注機関に対する入札談合等関与行為防止法・独占禁止法の研修を実施することによって、当該発注機関における入札談合等の防止のための取組を支援・促進することにつながり、入札談合等の一定以上の未然防止が図られていると考えられる。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由									
	発注機関における入札談合等の未然防止の状況を正確に把握する指標の設定は困難であるため。									
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由									
	-									

活動内容⑤ (アクティビティ)																											
↓																											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">活動実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	活動実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	当初見込み							単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
		活動実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																		
当初見込み																											
↓																											
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由																									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由																									

事業に関連するKPIが定められている関連決定等	名称	-
	URL	-
	該当箇所	-

事業所管部局による点検・改善

点検結果	<p>アクティビティ①～③については、各アウトプット及びアウトカムの状況を踏まえれば、消費者、事業者、学生等幅広い国民層に対して、公正取引委員会の活動内容、独占禁止法や下請法の内容について幅広く情報提供を行い、国民各層からの意見、要望を的確に把握することによって、競争政策について国民各層の理解の増進を図るとともに、独占禁止法や下請法の違反行為の未然防止を図ることに寄与したものと考えられる。</p> <p>アクティビティ④については、研修の実施回数については増加傾向で推移し、また、研修参加者における理解度も短期アウトカムの目標を上回る水準で推移していることから、本事業は、入札談合等関与行為防止法違反行為を未然に防止することで、もって、競争的な市場が創出される点に対して相当程度寄与したものと考えられる。</p>	目標年度における効果測定に関する評価(令和〇年度実施)
	<p>アクティビティ①～③について、国民各層のニーズを踏まえて情報発信を行うなど、競争政策に対する国民の理解・支持が得られるよう、引き続き各種広報活動を積極的に実施していくとともに、国民各層の意見・要望を的確に把握するよう努める。</p> <p>アクティビティ④について、引き続き、研修会の実施、研修資料の改訂などにより、入札談合等関与行為防止法の普及・啓発及び同法違反行為の未然防止を図ることとする。</p>	

外部有識者の所見

令和5年度政策評価・行政事業レビュー外部有識者合同会合議事録のとおり(URL: <https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukokai/seisaku/hyokaiin.html>)。

行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見

現状通り	特になし。
------	-------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見のとおり、引き続き本事業を継続することが適当と考える。
------	---

公開プロセス・秋の年次公開検証(秋のレビュー)における取りまとめ

過去に受けた指摘事項と対応状況	-
	-
	-
	-

上記への対応状況

-
-
-
-

その他の指摘事項

-
-
-
-

上記への対応状況

-
-
-
-

備考

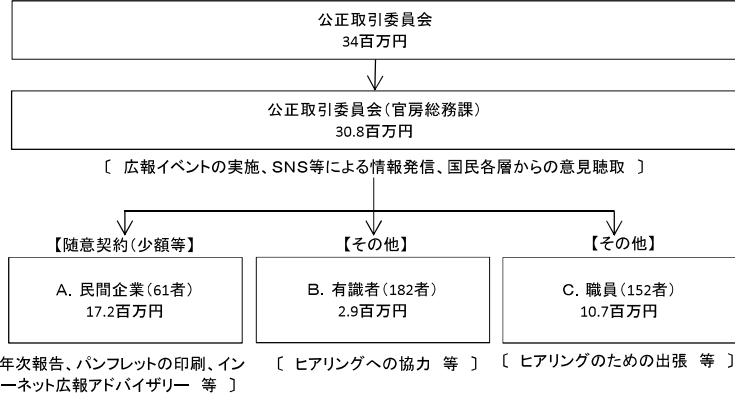
・令和5年度行政事業レビューにおいて、事業単位の見直しを行ったため、事業内容・予算額等に差異がある。

関連する過去のレビューシートの事業番号

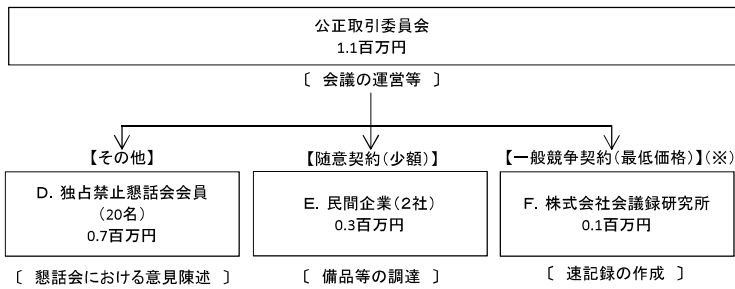
平成23年度	⑦	⑧										
平成24年度	③	④										
平成25年度	②	③										
平成26年度	②	③										
平成27年度	0002	0003										
平成28年度	0002	0003										
平成29年度	0002	0003										
平成30年度	0002	0003	新30-0001									
令和元年度	公正取引委員会	-	0002	公正取引委員会	-	0003	公正取引委員会	-	0008			
令和2年度	公正取引委員会	-	0002	公正取引委員会	-	0003	公正取引委員会	-	0008			
令和3年度	2021	公取	20	0002	2021	公取	20	0003	2021	公取	20	0008
令和4年度	2022	公取	21	0002	2022	公取	21	0003	2022	公取	21	0007

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)

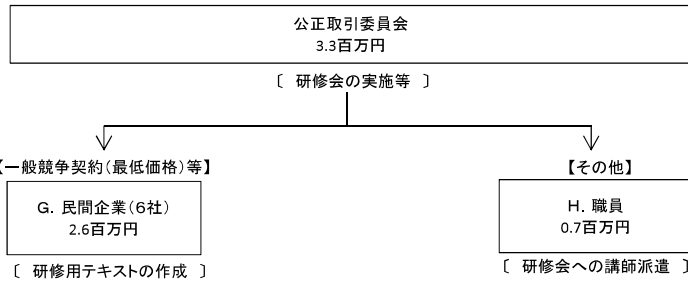
【活動内容1～3】



【活動内容3のうち、独占禁止懇話会】



【活動内容4 発注機関における入札談合の未然防止】



公正取引委員会(会計室)
0.7百万円

I. 民間事業者4者
0.7百万円

〔 ICカードのチャージ額の競争改善の普及啓発等に必要経費 〕

※支出金額については、四捨五入をしているため市民の数値などと異なる場合があります。

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
競争政策推進委託費	クリッピング著作権使用許諾料等	9.5	謝金	有識者ヒアリング等	2.3
庁費	パンフレット等の印刷等	7.7	委員等旅費	有識者ヒアリング等	0.6
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
計		17.2	計		2.9
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	国内出張	10.7	謝謝金	有識者ヒアリング等	0.7
		-	委員等旅費	有識者ヒアリング等	0.1
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
計		10.7	計		0.8
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	備品等の調達	0.3	庁費	速記録の作成	0.1
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
計		0.3	計		0.1
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	研修用テキストの印刷	2.6	職員旅費	講師派遣	0.7
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
		-			-
計		2.6	計		0.7

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)	
1	職員A	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
2	職員B	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
3	職員C	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
4	職員D	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
5	職員E	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
6	職員F	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
7	職員G	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
8	職員H	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
9	職員I	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
10	職員J	-	研修会への講師派遣に係る 旅費	0.1	その他	-	--		
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>	

別紙2

I.			J.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
庁費	ICカードのチャージ等	0.7			
計		0.7	計		0
K.			L.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
M.			N.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0007

令和5年度行政事業レビューシート (公正取引委員会)							
事業名	海外の競争当局等との連携の推進			担当部局庁	官房	作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	国際課	五十嵐 俊子	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	1. 独占禁止法第27条の2第5号 2. 公正取引委員会事務総局組織令第10条(国際課)			関係する 計画、通知等	-		
政策	競争政策の普及啓発等			主要経費	その他の事項経費		
施策	海外の競争当局等との連携の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、二国間の競争当局による協議や海外の競争当局ホームページ等を通じた情報収集等による海外の競争法・競争政策に係る知見を収集する活動と、国際会議等への出席や公取委ホームページを通じた海外への発信等による公取委のプレゼンス向上のための活動を行い、公取委における競争政策の運営基盤の強化を図ることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	経済のグローバル化の進展や、近年ではさらにデジタル化の進展により、各国・各地域の競争当局が共通する課題・事案に直面しており、互いに連携を採って対処することが重要となってきている。このため、海外の知見を積極的に収集すると共に、公取委のプレゼンスを向上させ、海外の競争当局等と積極的な連携を行う必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、海外の競争法・競争政策に係る知見を収集すると共に、公取委のプレゼンスを向上させるための取組を行う事業である。具体的には、二国間やG7等の多国間の取組の実施、ICNやOECD等の活動への参加、海外の法曹協会が主催するセミナー等への講師派遣、海外広報活動、開発途上国等への技術支援等である。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	70	73	91	82	91
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	▲ 56	▲ 33	▲ 1	-	
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	14	40	90	82	91
執行額(G)	13	18	74				
執行率(%) =(G)/(F)	93%	45%	82%				
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	19%	25%	81%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	公正取引委員会			-		
	(目)	職員旅費	52	63			
	(目)	庁費	18	7			
	(目)	外国人招へい旅費	7	6			
	(目)	経済実態等調査費	3	7			
	(目)	委員等旅費	0.4	0.5			
	(目)	国際競争組織分担金	0.4	0.4			
	(目)	非常勤職員手当	0	7			
		-	-	-			
	-	-	-				
	その他	0.5	0				
	計(A)	82	91				

活動内容① (アクティビティ)	国際会議、海外で開催されるセミナー等への参加、海外情報の収集								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国際会議、海外で開催されるセミナー等を通じた知見の収集・活用	国際会議、海外で開催されるセミナー等への参加件数	活動実績 当初見込み	件	12	29	31	-	-
				件	-	-	-	35	35
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
	国際会議、海外で開催されるセミナー等や海外の競争当局のホームページで得た海外の競争法・競争政策に係る知見を収集・活用することで、当委員会の法執行やアドボカシー活動のための体制が強化されることから、「競争政策の運営基盤の強化」を長期アウトカムに設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
	-								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
	-								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
	競争政策の運営基盤の強化	-	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
二国間協議等や海外の競争当局のホームページで得た海外の競争法・競争政策に係る知見を活用することで、国際的な競争法の事案や実態調査について適切に対応した。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	二国間協議等や海外の競争当局のホームページで得た海外の競争法・競争政策に係る知見の活用が、「競争政策の運営基盤の強化」のどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
	二国間協議等や海外の競争当局のホームページで得た海外の競争法・競争政策に係る知見の活用が、長期アウトカムである「競争政策の運営基盤の強化」に直接結びつくため。								

活動内容② (アクティビティ)	国際会議等への出席、英語ホームページを通じた海外への発信 二国間協議(トップレベル及びスタッフレベル)や国際機関等(OECD、ICN、UNCTAD、及びAPEC)が開催する会議、並びに、海外の競争当局、大学、出版社等が主催するセミナーに対し、積極的に参加した。									
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	公正取引委員会による海外への情報発信の強化	公正取引委員会ウェブサイトの英文プレスリリース掲載件数	活動実績 当初見込み	回	30	21	29	-	-	
				回	-	-	-	30	30	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	公正取引委員会による海外への情報発信の強化を行うことで、海外競争当局、国際機関、外国企業、海外の有識者等が当委員会の活動に注目することになることから、「公正取引委員会のプレゼンスの向上」を短期アウトカムに設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	公正取引委員会のプレゼンスの向上	公正取引委員会ウェブサイトの英文トップページへのアクセス数	成果実績	件	123,992	119,026	233,351	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	当委員会のプレゼンスが向上することで、当委員会の日常的な活動に関する注目度が高まり、最新の情報を求めて公正取引委員会ウェブサイトへアクセスすることになることから、ウェブサイトへのアクセス数を成果実績の根拠として用いた。重要な報道発表資料に関しては、迅速な英語版の公表に努めており、実際に、海外競争当局等によって、公正取引委員会ウェブサイトに掲載された英語版報道発表資料が参照されることがある。									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	公取委のプレゼンスが向上することで、国際的な競争法の事案や実態調査に対応するに際して、海外競争当局等と緊密な連携が可能となる。その結果、当委員会の法執行やアドボカシー活動のための体制が強化されることから、「競争政策の運営基盤の強化」を長期アウトカムに設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	競争政策の運営基盤の強化	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	公取委のプレゼンスが向上することで、海外競争当局等と緊密な連携が可能となったことにより、国際的な競争法の事案や実態調査について適切に対応することができた。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	公取委のプレゼンスの向上が、「競争政策の運営基盤の強化」にどのように反映されたかは、定量的な評価になじまないため。									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
	公取委のプレゼンスの向上が、長期アウトカムである「競争政策の運営基盤の強化」に直接結びつくため。									

活動内容③ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
↓		成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
↓		成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
↓		成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容④ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
				当初見込み						
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由								

公正取引員会(国際課)

73.6百万円

〔 海外出張
ICNワークショップの開催
等 〕

A.職員49名
38.4百万円

B.民間事業者27者
34.9百万円

C.海外当局1機関
0.3百万円

〔 出張旅費 〕

〔 ICNワークショップの開催
会議通訳 等 〕

〔 国際競争組織分担金 〕

※支出金額については、四捨五入をしているため内訳の数値などと整合しない。

資金の流れ

(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	海外出張	38	競争政策推進委託費	ICNワークショップ開催費用	28
庁費	海外出張時のPCR検査費用等	0.3	庁費	競争政策・競争法の情報サービス契約費用等	5.7
経済実態調査費	国際会議登録費用等	0.1	経済実態調査費	競争政策・競争法の情報サービス契約費用、書籍購入費用	1.2
計		38.4	計		34.9
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
国際競争組織分担金	ICN分担金	0.3			
計		0.3	計		
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

事業番号

2023 - 公取 - 新23 - 0008

		令和5年度行政事業レビューシート			(公正取引委員会)							
事業名	競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化等			担当部局庁	官房、経済取引局	作成責任者						
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	官房参事官、経済取引局企画室、経済分析室	河野 琢次郎、笠原 慎吾、栗谷 康正						
会計区分	一般会計											
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-							
政策	競争政策の普及啓発等			主要経費	その他の事項経費							
施策	競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化等											
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html											
事業の目的(5行程度以内)	<p>【官房参事官・経済取引局企画室】 経済学、法学等の外部の研究者・実務家が参画する競争政策研究センター(CPRC)における、競争法・競争政策上の先端的な課題等に関する研究活動及び研究成果に係る情報発信により、公正取引委員会における競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化、及び事業者等における競争法・競争政策の定着を行うとともに、これらの取組の成果も踏まえつつ、社会経済の構造変化・価値変容やビジネス戦略等の動向がもたらす競争政策上の中長期的政策課題に対応する企画立案を行うこと。</p> <p>【経済分析室】 独占的状态の市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて調査結果を公表することにより、事業者の予見可能性を確保すること。</p>											
現状・課題(5行程度以内)	<p>【官房参事官・経済取引局企画室】 競争法の運用や競争政策の企画・立案・評価は経済学等に理論的・実証的基礎を置くところ、ビジネス環境の変化に伴い新たな競争法・競争政策上の問題が生じてくる中で、理論的・実証的基礎を強化する等して先端的な課題や中長期的な課題等に適切に対処していくことが常に求められる。また、事業者、実務家等における競争政策に係る理解の定着及び増進につながるよう研究成果の継続的な情報発信が求められる。</p> <p>【経済分析室】 従前は、市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を把握するための独自調査を実施してきたが、統計調査に係る報告者負担の軽減と業務の見直し・効率化を図るとの政府方針(統計改革推進会議最終取りまとめ(平成29年5月統計改革推進会議決定))も踏まえ、平成30年11月、当該独自調査を実施しないこととした。この点、必要に応じて、経済実態を把握するための調査を行ってきたところ、以後は、これらの調査を行う中で市場構造要件への該当性が認められる場合には、その旨も公表することにより、引き続き、事業者の予見可能性を確保していくこととしている。</p>											
事業概要(5行程度以内)	<p>【官房参事官・経済取引局企画室】 ①事業者、法曹等の実務家における競争政策に係る理解の増進を図るとともに、競争政策に係る先端的な課題等に関する議論・検討を深めるための公開のシンポジウム・セミナーの開催、②競争政策上の諸課題について議論を行うための検討会の開催、③先端的な課題等について、職員及び学識経験者等との議論を経て執筆する論考(ディスカッション・ペーパー(DP))の発表、④事業者、実務家、内外の研究者による講演会等の開催を行う。さらに、⑤これらの取組の成果を踏まえつつ競争政策上の中長期的政策課題に対応する企画立案を行う。</p> <p>【経済分析室】 政府統計情報等を活用しつつ、市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて調査結果を公表する。</p>											
事業概要URL	https://www.jftc.go.jp/cprc/index.html											
実施方法	直接実施、委託・請負											
補助率等	-											
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	40	令和3年度	45	令和4年度	45	令和5年度	49	令和6年度要求	44
		補正予算(B)		-		-		-		-		-
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-		-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-		-
		予備費等(E)		▲16		▲14		▲9		-		-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		24		31		36		49		44
		執行額(G)		16		21		25		-		-
		執行率(%) =(G)/(F)		67%		68%		69%		-		-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		40%		47%		56%		-		-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)							
(項)	公正取引委員会											
(目)	経済実態等調査費	29	28									
(目)	諸謝金	7	7									
(目)	委員等旅費	7	7									
(目)	非常勤職員手当	4	0									
(目)	職員旅費	2	2									
	-	-	-									
	-	-	-									
	-	-	-									
	-	-	-									
	その他	▲0	0									
	計(A)	49	44									
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)												

活動内容① (アクティビティ)	【官房参事官・経済取引局企画室】 ①公開のシンポジウム・セミナーの企画、②検討会の開催、③ディスカッション・ペーパーの執筆に係る管理、及び④内部向け講演会の企画、並びに⑤競争政策上の中長期的政策課題の対応に向けた企画立案(調査・検討・論点整理等)																																			
↓																																				
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>回</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>回</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績	回	4	4	3	-	-	当初見込み	回	3	3	3	3	3												
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																														
活動実績	回	4	4	3	-	-																														
当初見込み	回	3	3	3	3	3																														
成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	競争法・競争政策上の先端的な課題等に関するOPRCの研究活動(活動目標①~④)を行うことで、公正取引委員会職員が当該課題等について関心を有し、かつ、研究成果を理解することにつながり、結果として、公正取引委員会が法執行及び政策立案を行う上で必要な理論的・実証的基礎が確保される。このため、OPRCの研究内容に対する職員の関心の向上及び研究成果に関する職員の理解の増進を、二つ目の短期アウトカムとして設定した。 また、競争法・競争政策上の先端的な課題等に関するOPRCの研究内容に係る情報発信(活動目標①~④。なお、④については講演会資料の公表のみ。)を行うことで、事業者等が競争法・競争政策を理解し、事業者等によって競争法・競争政策上の新たな問題がもたらされないことが期待される。このため、事業者等による競争法・競争政策に係る理解・関心の向上を、二つ目の短期アウトカムとして設定した。																																			
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>%</td> <td>90</td> <td>92</td> <td>87</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>85</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>108.2</td> <td>102.4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		成果実績	%	90	92	87	-	-	目標値	%	-	85	85	-	-	達成度	%	-	108.2	102.4	-	-					
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度																															
成果実績	%	90	92	87	-	-																														
目標値	%	-	85	85	-	-																														
達成度	%	-	108.2	102.4	-	-																														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	成果実績に関しては、事業者等による競争法・競争政策に係る理解・関心の向上を測定するものとして、公開のシンポジウム・セミナーの参加者に対するアンケート結果に基づいている。また、OPRCの研究内容に対する職員の関心の向上及び研究成果に関する職員の理解の増進に関しては、令和4年に実施した当委員会職員向けアンケートにおいて、ディスカッション・ペーパーや内部向け講演会が有益なものであるとの意見が職員より寄せられている。																																			
↓																																				
成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																																				
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		成果実績	-	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-					
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度																															
成果実績	-	-	-	-	-	-																														
目標値	-	-	-	-	-	-																														
達成度	%	-	-	-	-	-																														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																																				
成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	OPRCの研究内容に対する職員の関心の向上及び研究成果に関する職員の理解の増進が図られることで、職員が法執行及び政策立案を検討する際にOPRCの研究活動を参照し、適切な法執行及び政策立案に役立てることができ環境が整備され、競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化につながると考えられるため、競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化を二つ目の長期アウトカムとして設定した。 さらに、職員が上記取組の成果や知見も活用しつつ、競争政策上の中長期的政策課題の対応に向けた企画立案を行うことで、当委員会が社会経済の構造変化・価値変容やビジネス戦略等の動向を踏まえた中長期的観点からの課題へ具体的にに対応できると考えられるため、社会経済の構造変化等がもたらす課題への具体的な対応としての基本的な政策・制度枠組みの整備・構築を二つ目の長期アウトカムとして設定した。 さらに、事業者等による競争法・競争政策に係る理解・関心が向上することで、事業者等が競争法・競争政策上の問題に留意して事業活動を行うようになり、事業者等における競争法・競争政策の定着につながると考えられるため、事業者等における競争法・競争政策の定着を三つ目の長期アウトカムとして設定した。																																			
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td colspan="2">目標最終年度 - 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		成果実績	-	-	-	-	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-					
	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度																															
成果実績	-	-	-	-	-	-																														
目標値	-	-	-	-	-	-																														
達成度	%	-	-	-	-	-																														
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	職員が法執行及び政策立案を検討する際には、実際に、OPRCの検討会報告書やディスカッションペーパー並びに公開のシンポジウム・セミナーや内部向け講演会における発表資料及び講演概要が参照されることがある。したがって、OPRCの研究活動が競争政策に関する理論的・実証的基礎の強化につながっていると考えられる。 また、理論的・実証的基礎の強化を踏まえて中長期的政策課題の対応に向けた企画立案を実施したことで、例えば、効率的・効果的な真相解明・事件処理に係る支障等の問題に対応するための、事業者の調査協力センター等を高める仕組みの導入等の法整備を実施することができた。したがって、中長期的政策課題の対応に向けた企画立案は、社会経済の構造変化等がもたらす課題への当委員会における具体的な対応としての基本的な政策・制度枠組みの整備・構築につながっていると考えられる。 さらに、OPRCのウェブサイト公表している検討会報告書やディスカッションペーパー並びに公開のシンポジウム・セミナーにおける発表資料及び講演概要は、日常的に事業者等によってダウンロードされている。これらの事業者等においては、入手した報告書等を参照して事業活動を行っていることが推察されることから、OPRCの研究活動が事業者等における競争法・競争政策の定着につながっていると考えられる。																																			
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由 競争法・競争政策上の先端的な課題等に関する研究活動が当委員会における理論的・実証的基礎に与えた影響、中長期的政策課題の対応に向けた企画立案が社会経済の構造変化等がもたらす課題への当委員会における具体的な対応に与えた影響及び研究成果に係る情報発信が事業者等における競争法・競争政策の定着に与えた影響については、定量的な評価になじまないため。 アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																																			

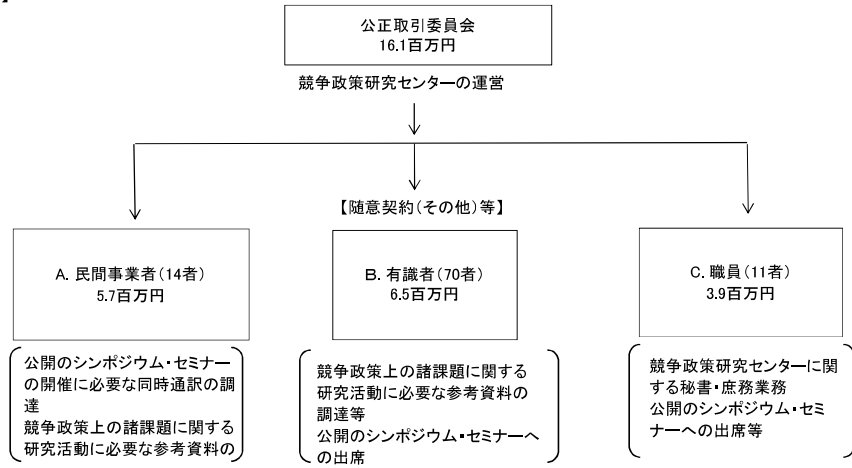
活動内容② (アクティビティ)		市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて公表する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて公表する。	-	活動実績	-	-	-	-	-	-	
				当初見込み	-	-	-	-	-	-	-
↓											
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて調査結果を公表することにより、事業者の予見可能性を確保することが、本事業の目的であるため。									
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
↓											
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		-									
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		-									
↓											
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		-									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて調査結果を公表することにより、事業者の予見可能性を確保する。	-	成果実績	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公正取引委員会は、政府統計情報等を活用した調査により、市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を一定程度把握しているが、これまでに当該調査結果を公表したことはない。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		事業者の予見可能性の確保の程度については定量的な評価になじまないことに加え、これまでに政府統計情報等を活用した調査結果を公表したことがなく、具体的な目標を設定することも困難であるため。									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		市場構造要件に係る事業活動及び経済実態を調査し、必要に応じて調査結果を公表することにより、事業者の予見可能性を確保することが、本事業の目的であるため。									

活動内容③ (アクティビティ)																											
↓																											
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">活動実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	活動実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	当初見込み							単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
		活動実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																		
当初見込み																											
↓																											
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
目標値																											
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
目標値																											
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度																			
目標値																											
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由																									
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由																									

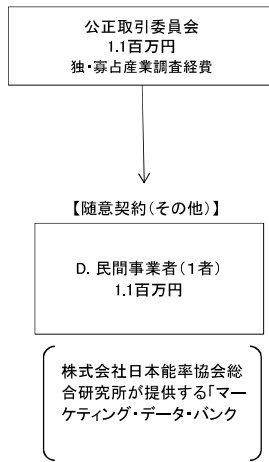
活動内容④ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績						
				当初見込み						
↓										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容⑤ (アクティビティ)																											
↓																											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">活動実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	活動実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	当初見込み							単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
		活動実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																		
当初見込み																											
↓																											
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
↓																											
成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																											
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	目標値						達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度																			
		目標値																									
達成度	%	-	-	-	-																						
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由																									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由																									

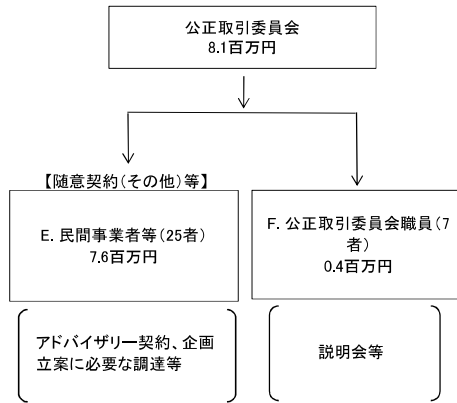
【官房参事官】



【経済分析室】



【経済取引局企画室】



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
経済実態等調査費	物品及び役務の購入等	5.7	諸謝金	競争政策研究センターにおける会議への出席等	5.2
			委員等旅費	競争政策研究センターにおける会議への出席	1.3
計		5.7	計		6.5
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	競争政策研究センターに関する秘書・庶務業務	3.6	経済実態等調査費	マーケティング・データ・バンクの利用	1.1
職員旅費	公開のシンポジウム・セミナーへの出席等	0.3			
計		3.9	計		1.1
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
経済実態等調査費	中長期的政策課題の対応に向けた企画立案	6.7	職員旅費	ヒアリング等	0.4
庁費	物品及び役務の購入	0.8			
諸謝金	ヒアリング等	0.1			
計		7.6	計		0.4
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者に
 ついて記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0009

令和5年度行政事業レビューシート (公正取引委員会)							
事業名	政府規制分野等に係る調査・検討及び評価			担当部局	経済取引局	作成責任者	
事業開始年度	不明	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	調整課	天田 弘人	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	独占禁止法第1条(目的)、第3条(私的独占、不当な取引制限の禁止)、第8条(事業者団体の禁止行為)、第19条(不正な取引方法の禁止)、第27条(任務、所轄)、第27条の2(所掌事務)、第40条(調査のための強制権限)、第41条(調査囑託)、内閣府設置法第58条			関係する計画、通知等	「経済財政運営と改革の基本方針 2023 について」(令和5年6月16日閣議決定)、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2023改訂版」(令和5年6月16日閣議決定)等		
政策	競争政策の普及啓発等			主要経費	その他の事項経費		
施策	政府規制分野等に係る調査・検討及び評価						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	政府規制分野等において公正かつ自由な競争を促進し、国民全体の利益の向上を実現する。						
現状・課題(5行程度以内)	現状、規制や取引慣行等により競争が十分に働いていないと考えられる分野や、規制改革により新規参入の機会が拡大し、今後の競争の活発化が期待される分野(以下まとめて「政府規制分野等」という。)がある。このような分野においては、関係者に対して効果的な普及啓発を行うことで、公正かつ自由な競争を促進する必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	政府規制分野等に関して実態調査を実施する。具体的には、文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査等を実施して、市場構造、取引実態、事業者間の競争実態等を把握するとともに、専門的知見を有する学識経験者による研究会を開催して、制度等の問題点について検討し、また、検討の結果を踏まえて、公正かつ自由な競争を促進する観点から提言を行うほか、必要に応じて各府省との調整や関係者への周知など、普及啓発を行う。さらに、独占禁止法違反行為の未然防止を図る観点から、政府規制分野等に関する独占禁止法のガイドラインを策定又は改定する。具体的には、文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査等や、専門的知見を有する学識経験者による研究会の開催を実施した上で、独占禁止法上の問題点について検討し、検討の結果を踏まえて独占禁止法のガイドラインを策定又は改定し、関係者に対し説明会を開催して普及啓発を行う。						
事業概要URL							
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	9	9	12	10	45
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	▲1	-	-
		計(F)=(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	9	9	11	10	45
		執行額(G)	5	6	11	-	-
		執行率(%)=(G)/(F)	56%	67%	100%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)=(G)/{(A)+(B)}	56%	67%	92%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		重要政策推進枠 36				
(目)	経済実態等調査費	8	37				
(目)	職員旅費	2	7				
(目)	諸謝金	0.4	0.4				
(目)	委員等旅費	0.3	0.3				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	その他	▲0	0				
	計(A)	10	45				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)							

活動内容① (アクティビティ)	政府規制分野等に関して実態調査を実施する。具体的には、文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査等を実施して、市場構造、取引実態、事業者間の競争実態等を把握するとともに、専門的知見を有する学識経験者による研究会を開催して、制度等の問題点について検討し、また、検討の結果を踏まえて、公正かつ自由な競争を促進する観点から提言を行うほか、必要に応じて各府省との調整や関係者への周知など、普及啓発を行う。																
↓																	
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標 調査報告書を公表し、独占禁止法及び競争政策上望ましい行為を提言する。	活動指標 調査報告書の報告件数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td>件</td> </tr> </table>			活動実績	件	当初見込み	件	単位 件	令和2年度 2	令和3年度 3	令和4年度 2	5年度 活動見込 -	6年度 活動見込 -		
活動実績	件																
当初見込み	件																
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まず第一に、各調査に係る市場で実際に取引を行う事業者や関係者が、報告書の内容やそこの提言内容を把握する必要があることから、事業者や関係者による認知状況を短期アウトカムの成果目標として設定した。															
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標 公取委が提言した内容を、調査対象市場における事業者や関係者が認知する。	定量的な成果指標 -	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	-	目標値	-	達成度	%	単位 -	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標年度 -年度	
成果実績	-																
目標値	-																
達成度	%																
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「携帯電話端末の廉価販売に関する緊急実態調査」報告書の公表後に、当該報告書の内容を、MNOや、スマートフォンの販売業者で構成される業界団体に対して説明することで、周知が行われた。 ・「フィンテックを活用したサービスに関するフォローアップ調査報告書」の公表後に、当該報告書の内容を全国銀行協会の会員向け説明会やフィンテック業者等で構成されるキャッシュレス推進協議会やフィンテック協会の会員向け説明会において、説明することで、周知が行われた。 ・なお、令和2年度以降に公正取引委員会ウェブサイトに掲載された調査報告書等へのアクセス件数は、令和2年度は23,084件、令和3年度は37,038件、令和4年度は31,800件であった。 																
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	効果発現の中途段階として、公取委による提言の内容を認知した事業者等が、その提言内容の実践し、それが定着することにより提言を行う前に見られたような競争制限的な状況が改善され、「目的」に記載した公正かつ自由な競争が促進されることから、これを中期アウトカムとして設定した。															
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標 調査対象市場において、事業者や関係者が公取委の提言した内容を実践する。	定量的な成果指標 -	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	-	目標値	-	達成度	%	単位 -	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標年度 -年度	
成果実績	-																
目標値	-																
達成度	%																
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンテックを活用した金融サービスの向上に向けた競争政策上の課題を把握するために行った実態調査において、銀行が他行宛てに送金する場合に発生する銀行間の送金手数料の設定・変動が硬直的であることを指摘したことにより、約40年ぶりの制度変更につながった。 																
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	効果発現の最終段階として、中期アウトカムの結果、需要者等の利益が向上し、「目的」に記載した国民全体の利益の向上が実現されることから、これを長期アウトカムとして設定した。															
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標 調査対象市場において、需要者等の利益が向上する。	定量的な成果指標 -	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> </tr> </table>			成果実績	-	目標値	-	達成度	%	単位 -	令和2年度 -	令和3年度 -	令和4年度 -	目標最終年度 -年度	
成果実績	-																
目標値	-																
達成度	%																
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績	<ul style="list-style-type: none"> ・フィンテックを活用した金融サービスの向上に向けた競争政策上の課題を把握するために行った実態調査により、銀行間の送金において発生する手数料が3万円未満は1回117円、3万円以上は1回162円であったのが、一律62円となり、各銀行における振込手数料の引下げにつながり、需要者の利益が向上した。 																
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由																
	提言した内容の実践や需要者等の利益の向上は必ずしも定量的に示せるものではなく、また、料金の低減など定量的に現れるものであっても、事前に目標設定を行うことは個別の市場により事情が異なることもあり困難であるため。																
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由																

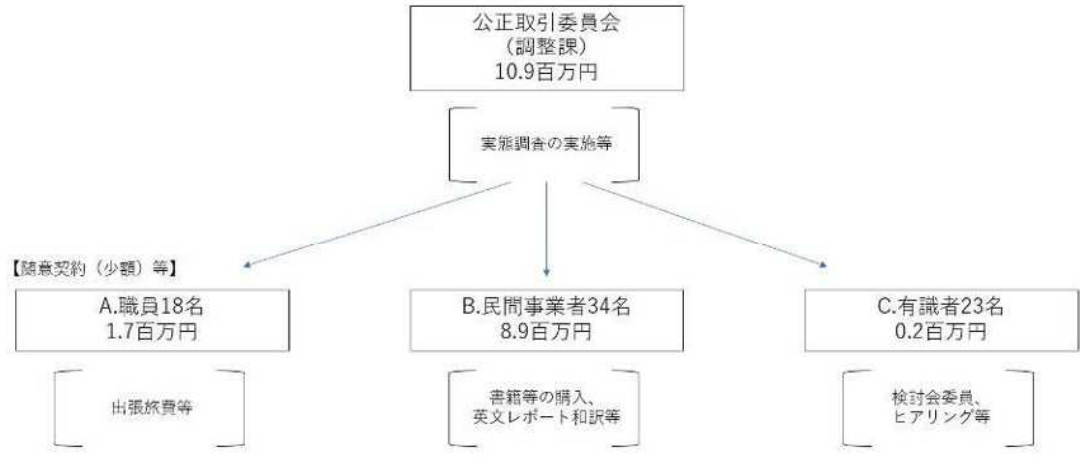
活動内容② (アクティビティ)		独占禁止法違反行為の未然防止を図る観点から、政府規制分野等に関する独占禁止法のガイドラインを策定又は改定する。具体的には、文献調査、アンケート調査、ヒアリング調査等や、専門的知見を有する学識経験者による研究会の開催を実施した上で、独占禁止法上の問題点について検討し、検討の結果を踏まえて独占禁止法のガイドラインを策定又は改定し、関係者に対し説明会を開催して普及啓発を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ガイドラインを策定又は改定し、独占禁止法上問題となる行為を明らかにする。	ガイドラインの作成又は改定件数	活動実績	件	6	4	5	-	-
				当初見込み	件	4	4	4	4	4
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		効果発現の初期段階として、まず第一に、各ガイドラインに係る市場で実際に取引を行う事業者や関係者が、ガイドラインに記載されている考え方を把握する必要があることから、事業者や関係者による認知状況を短期アウトカムの成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		策定又は改定したガイドラインに記載されている考え方を、ガイドラインに係る市場における事業者や関係者が認知する。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「グリーン社会の実現に向けた事業者等の活動に関する独占禁止法上の考え方」(以下「グリーンガイドライン」という。)の策定後に、当該ガイドラインに記載されている考え方を、日本経済団体連合会等が開催する勉強会において事業者等に対して説明することで、周知が行われた。								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		効果発現の中途段階として、ガイドラインに記載されている考え方を認知した事業者等が、独占禁止法上問題とならない形で取組を進めることにより、「目的」に記載した公正かつ自由な競争が促進されることから、これを中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		ガイドラインに係る市場において、事業者や関係者がガイドラインに記載されている考え方に沿って取組を行う。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		グリーンガイドラインの策定により、当該ガイドラインを参照する事業者等が、ガイドラインに記載されている共同研究開発や共同物流等のグリーン社会の実現に向けた取組を、独占禁止法上問題とならない形で進めることが見込まれる。								
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)		効果発現の最終段階として、中期アウトカムの結果、需要者等の利益が向上し、「目的」に記載した国民全体の利益の向上が実現されることから、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		ガイドラインに係る市場において、需要者等の利益が向上する。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		グリーンガイドラインの策定により、事業者等による共同研究開発や共同物流等が独占禁止法上問題とならない形で行われ、技術革新による商品役務の質の向上や価格低減が起り、需要者の利益が向上することが見込まれる。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		ガイドラインに記載されている考え方に沿った事業者等の取組の実践や需要者等の利益の向上は必ずしも定量的に示せるものではなく、また、料金の低減など定量的に現れるものであっても、事前に目標設定を行うことは個別の市場により事情が異なることもあり困難であるため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)																														
↓																														
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						活動実績					当初見込み					単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込					
活動実績																														
当初見込み																														
↓																														
成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
↓																														
成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
↓																														
成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																														
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
成果実績																														
目標値																														
達成度	%	-	-	-																										
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																														
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由																												
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由																												

活動内容④ (アクティビティ)																														
↓																														
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">単位</td> <td style="width: 10%;">令和2年度</td> <td style="width: 10%;">令和3年度</td> <td style="width: 10%;">令和4年度</td> <td style="width: 10%;">5年度 活動見込</td> <td style="width: 10%;">6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>活動実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	活動実績							当初見込み											
			単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																					
活動実績																														
当初見込み																														
↓		成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																												
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">単位</td> <td style="width: 10%;">令和2年度</td> <td style="width: 10%;">令和3年度</td> <td style="width: 10%;">令和4年度</td> <td style="width: 10%;">目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	-				
			単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																						
		成果実績																												
		目標値																												
達成度	%	-	-	-	-																									
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																												
↓		成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																												
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">単位</td> <td style="width: 10%;">令和2年度</td> <td style="width: 10%;">令和3年度</td> <td style="width: 10%;">令和4年度</td> <td style="width: 10%;">目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	-				
			単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																						
		成果実績																												
		目標値																												
達成度	%	-	-	-	-																									
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																												
↓		成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																												
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">単位</td> <td style="width: 10%;">令和2年度</td> <td style="width: 10%;">令和3年度</td> <td style="width: 10%;">令和4年度</td> <td style="width: 10%;">目標最終年度 年度</td> </tr> <tr> <td>成果実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	成果実績					目標値					達成度	%	-	-	-	-				
			単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度																						
		成果実績																												
		目標値																												
達成度	%	-	-	-	-																									
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																												
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由																												
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由																												

活動内容⑤ (アクティビティ)											
↓											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
				活動実績							
↓		成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
↓		成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)									
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-		
		成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※支出金額については、四捨五入をしているため、内訳の数値などと整合しない。

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
職員旅費	出張	1.7	経済実態等調査費	英文レポートの和訳及び公表文の英訳	8.9
計		1.7	計		8.9
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	検討会委員	0.1			
委員等旅費	検討会委員の旅費	0.1			
計		0.2	計		
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目と
 使途の双方で実情が分
 かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

事業番号 2023 - 公取 - 新23 - 0010

令和5年度行政事業レビューシート (公正取引委員会)							
事業名	デジタル市場における競争環境の整備			担当部局庁	経済取引局	作成責任者	
事業開始年度	令和2年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	デジタル市場企画調査室	稲葉 偉太	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	・「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」(令和4年6月7日閣議決定) ・「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)		
政策	競争政策の普及啓発等			主要経費	その他の事項経費		
施策	デジタル市場における競争環境の整備						
政策体系・評価書URL	https://www.jftc.go.jp/soshiki/kyotsukoukai/seisaku/index.html						
事業の目的(5行程度以内)	デジタル分野に関する実態調査を実施し、問題となるおそれのある行為等に関する指摘や、改善に向けた提言を行うことを通じて、①デジタル分野における独占禁止法違反行為の未然防止や、競争制限的行為の自主的な改善の促進を図るとともに、②必要に応じて、デジタル分野における新たなルール整備を促す。これらの取組により、デジタル分野における公正かつ競争的な市場環境の整備を図ることで、デジタルプラットフォーム事業者が取引先の事業者に対して不当に不利益を与える行為等を是正し、デジタルプラットフォームを利用する事業者における公正なビジネス環境を整備するとともに、一般消費者にとって、将来にわたって多様なサービスの選択肢を確保し、良質なサービスを受用することができる環境を整備することを目的としている。						
現状・課題(5行程度以内)	近年、デジタル分野においては、デジタルプラットフォーム事業者が、業種・業態の垣根を超え、多岐にわたるサービスを提供している。デジタルプラットフォームは、プラットフォームを介して両面に市場を有する、ネットワーク効果が働く、限界費用が低い、規模の経済性が働く等の特徴があることから、特定のデジタルプラットフォームへの集中が生じやすく、独占・寡占に至る場合もある。また、データの集積・利活用が更なるサービスの拡充をもたらすことから、デジタルプラットフォームの参加者には高いスイッチングコストが生じ、ロックイン効果が働くことがある。こうしたデジタルプラットフォームの特徴から、優越的地位の濫用、他のデジタルプラットフォーム事業者の排除、競合する利用事業者の排除等、競争政策上の弊害やその懸念が生じている。このような競争政策上の弊害やその懸念に対応するためには、デジタルプラットフォームを取り巻く競争環境の実態を把握し、独占禁止法上の考え方を整理すること等により違反行為の未然防止を図るなど、デジタル分野における競争環境を整備していく必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	本事業は、デジタル分野において、事業者の地位やシェア等の市場構造、競争圧力の有無等を調査し、競争環境について評価を行うとともに、①問題となるおそれのある行為等について、独占禁止法や競争政策の観点からの指摘や、改善に向けた提言を行い、②必要に応じて、デジタル分野における新たなルール整備に向けた提言を行う事業である。						
事業概要URL	https://www.jftc.go.jp/dk/digital/index.html						
実施方法	直接実施、委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	39	39	59	70	81
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	▲ 8	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	39	39	51	70	81
		執行額(G)	19	28	29	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	49%	72%	57%	-	-
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}	49%	72%	49%	-	-
		歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
(項)	公正取引委員会		重要政策推進枠 28				
(目)	経済実態等調査費	45	38				
(目)	非常勤職員手当	22	38				
(目)	諸謝金	2	1				
(目)	職員旅費	1	4				
(目)	委員等旅費	0.3	0.3				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	その他	0	0				
	計(A)	70	81				

活動内容① (アクティビティ)	デジタル分野において利用が拡大しているサービス等の市場について、事業者や消費者に対するアンケートやヒアリング等の調査を行い、事業者の地位やシェア等の市場構造、競争圧力の有無等の実態を把握するとともに、競争状況について評価を行う。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		実態調査報告書に係る説明 会実施件数	活動実績	件	2	12	19	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	12	12	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	効果発現の初期段階として、まず、各調査に係る市場で実際に取引を行うデジタルプラットフォーム事業者やデジタルプラットフォームを利用する事業者等の関係者が、報告書における提言等の内容を把握する必要があることから、関係事業者等における認知状況を短期アウトカムの成果目標として設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	公正取引委員会による指摘や提言を、 調査対象市場における関係事業者等 が認知する。	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	実態調査を公表後、関係業界団体に対して講習会・講師派遣等を、令和2年度は2件、令和3年度は12件、令和4年度は19件行い、周知が図られた。その後も当該業界団体から報告書の内容や考え方について相談を受けるなどした。 なお、公正取引委員会ウェブサイトに掲載した実態調査報告書へのアクセス件数は、令和2年度19,833件、令和3年度11,469件、令和4年度21,980件であり、これは、関係事業者等を含め、実態調査報告書に対する関心の高さを示すものと推測される。									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	効果発現の最終段階として、公正取引委員会による指摘や提言を認知した関係事業者等が、それを踏まえて対応を行うことにより、指摘や提言を行う前に見られたような市場の競争制限的な状況が改善され、「目的」に記載した公正かつ競争的な市場環境が創出されることから、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	-									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	-								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	調査対象市場において関係事業者等 が公正取引委員会による指摘や提言 を踏まえて対応を行うことで、市場の競 争が促進され、関係事業者や消費者の 利益が増大する。	-	成果実績	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	実態調査を公表後、デジタルプラットフォーム事業者がアプリストアにおける販売価格の階層設定の見直しを行うなど、公正取引委員会の指摘や提言と軌を一にする対応が採られた。									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	実態調査を通じた公正取引委員会による指摘や提言が、関係事業者等の対応や、関係事業者や消費者の利益の増大にどのように結びついたかについては、定量的な評価になじまないため。									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

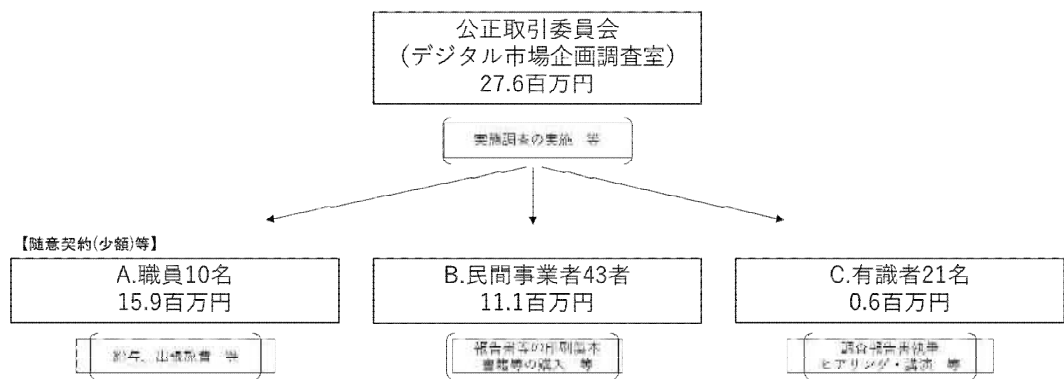
活動内容② (アクティビティ)		デジタル分野において利用が拡大しているサービス等の市場について、事業者や消費者に対するアンケートやヒアリング等の調査を行い、事業者の地位やシェア等の市場構造、競争圧力の有無等の実態を把握するとともに、競争状況について評価を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		実態調査報告書を公表し、必要に応じて、デジタル分野における新たなルール整備に向けた提言を行う。	ルール整備に向けた提言を行った調査報告書の公表件数	活動実績	-	1	-	1	-	-
				当初見込み	-	-	-	-	-	-
↓										
成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)		公正取引委員会による提言を踏まえ、ルールが整備されることで、遵守すべき内容が明確になり、関係事業者等の意識改善や行動変容につながることから、これを短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		公正取引委員会による提言を踏まえたルールが整備される。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公正取引委員会のオンラインモール・アプリストア分野の実態調査報告書での提言を踏まえて、デジタルプラットフォーム取引透明化法(特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律)が立法された。 また、公正取引委員会のデジタル広告分野の実態調査報告書での提言を踏まえて、同法の対象に同分野が追加された。								
↓										
成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)		効果発現の最終段階として、公正取引委員会による提言を踏まえて整備されたルールにより、提言を行う前に見られたような市場の競争制限的な状況が改善され、「目的」に記載した公正かつ競争的な市場環境が創出されることから、これを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ②-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
		-	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓										
成果目標②-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度	
		調査対象市場において関係事業者が、公正取引委員会による提言を踏まえて整備されたルールを遵守することで、市場の競争が促進され、関係事業者や消費者の利益が増大する。	-	成果実績	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		公正取引委員会による提言を踏まえて、デジタルプラットフォーム取引透明化法(特定デジタルプラットフォームの透明性及び公正性の向上に関する法律)が立法され、特定デジタルプラットフォーム事業者が同法の規定を遵守することにより、デジタルプラットフォーム事業者の規約変更などに係る課題が改善された。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		公正取引委員会による提言を踏まえたルールの整備状況や当該ルールが、関係事業者による対応や関係事業者や消費者の利益の増大にどのように結びついたかについては、定量的な評価になじまないため。								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容③ (アクティビティ)										
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
				活動実績 当初見込み						
↓ 成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)										
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓ 成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)										
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓ 成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)										
		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容④ (アクティビティ)																										
↓																										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">活動実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>5年度 活動見込</td> <td>6年度 活動見込</td> </tr> <tr> <td>当初見込み</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	活動実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	当初見込み							単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込		
		活動実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込																	
当初見込み																										
↓																										
成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)																										
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値					達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																		
		目標値																								
		達成度	%		-	-	-	-																		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																										
↓																										
成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)																										
成果目標及び成果実績 ④-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	目標値					達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度																		
		目標値																								
		達成度	%		-	-	-	-																		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																										
↓																										
成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)																										
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標	<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 50px;">成果実績</td> <td>単位</td> <td>令和2年度</td> <td>令和3年度</td> <td>令和4年度</td> <td>目標最終年度 年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	成果実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	目標値					達成度	%	-	-	-	-	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度
		成果実績	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度																		
		目標値																								
		達成度	%		-	-	-	-																		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績																										
アウトカム設定について の説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由																								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由																								

活動内容⑤ (アクティビティ)											
↓											
活動目標及び活動実績 ⑤ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
				活動実績							
↓											
成果目標⑤-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ⑤-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓											
成果目標⑤-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)											
成果目標及び成果実績 ⑤-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
↓											
成果目標⑤-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)											
成果目標及び成果実績 ⑤-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度		
				成果実績							
				目標値							
				達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ⑤について定性的なアウトカムを設定している理由									
		アクティビティ⑤についてアウトカムが複数設定できない理由									

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



*支出金額については、四捨五入をしているため内訳の数値などと整合しない。

A.			B.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	給与等	14.6	経済実態等調査費	書籍・レポート等の購入 等	11.1
職員旅費	出張	1.3			
計		15.9	計		11.1
C.			D.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	調査報告書執筆 等	0.6			
計		0.6	計		
E.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
G.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計			計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金
 額が支出されている者
 について記載する。費目
 と使途の双方で実情が
 分かるように記載)

H

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

